

インパーソナル・ライフ あなたとわたしは共に神である



[イエスソングス文庫](#) — [大湾洋乃](#)

2019年9月25日 10:07

** インパーソナル・ライフ あなたとわたしは共に神である 第一章 **

書籍紹介

本書は、約 100 年前の 1914 年、米国のキリスト教神秘主義者ジョセフ・ベナーによって著されました。「神」と「人間」の間にある分離という幻想を打ち消す、不二一元論・ノンデュアリティ思想の究極の書とも呼べる作品です。その教えは英米のスピリチュアリスト達の間で今日も愛され続けています。

一章 わたし(アイ・アム)という存在

この本を手にとったあなたへ。

真理、自由、喜び、更には神という存在を探し求めてきたあなた。あれこれと迷い続け、様々な本、教義、哲学や宗教の中に答えを見出そうと、探し求めてきたあなた。

あなたの魂は疲れ、落胆し、殆どの希望を失ってしまいました。

「真理」らしきものを何度も垣間見、それを追い求めたはずが、蜃気楼の彼方に全てを見失ってしまったと言うあなた。

世間では有名な組織や、宗教に属する人物を、その素晴らしい教えや行いのため「師」と信じていたあなた。そしてその「師」もまたあなたと同じ人間であり、美しい教えや真理を伝えることはできても、欠点や、罪深い行いがあると知ったあなた。

そのようなあなたにこそ、全ての境界を超えた「わたし」は訪れるのです。

魂の中で、ぼんやりとその存在を現そうとしてきた真理を、あなたは感じ始めました。

「命のパン」を求めるあなたにこそ、「わたし」は訪れるのです。

「命のパン」を食べる用意はできていますか？

さあ、目を覚まし、姿勢を正しましょう。人間的な思考を沈め、これからわたしが話す事をよく聞いてください。これまでと同じようにまた落胆し、その胸を痛めることのないように。

「わたし」。

いったいこの「わたし」とは？

この尤もらしい態度であなたに語りかける、この「わたし」とは？

よく聞いてください。

「わたし」は「あなた」なのです。あなたの中の実存する部分 - すでに全てを知っている「あなた」なのです。

「あなた」は常に全てを知っていたし、常に存在していたのです。

そう、「わたし」は「あなた」。「わたしは在る - アイ・アム」と自覚する意識。あなたの本来の自己なのです。

全てを超越しながらも、あなたの最も深い部分に存在するこの「わたし」は、あなたがこの文章を読んでいるまさに今、この真実の理解へと導き、全ての偽(いつわり)なるものを取り除いていきます。これまで長い間、あなたを迷わせ続けてきた“自分”は、真のあなたではないのです。

あなたの中の真我(アイ・アム)の意識こそが真の師であり、あなたの外に師は存在しないのです。

わたしは、聖なるあなたの自己です。

わたしがあなたにこのメッセージ、生ける言葉を届けているのです。これまでも、わたしはあなたに全てをもたらしてきました。数々の本や、師とされる人物…。あなたの真我であるわたしこそが、真の教師であり唯一の神であることを伝えるために、わたしが全てをもたらしてきたのです。「命のパンとワイン」ばかりではなく、あなたの身体的・精神的・霊的成長に必要とされる全てのものを、わたしは届けてきました。

これからこの文章を読んでいく上であなたが惹かれる箇所は、あなたの真我であるわたしからのメッセージであり、あなたの“外側の意識”に対し、内側から働きかけるものなのです。あなたの“内側の意識”、つまり「わたしは在る(アイ・アム)」の意識は常に全てを知っているけれども、まだそれらが具体的なかたちで外側の意識に理解できるようになっていない、ということなのです。

同様に、これまで外側の世界であなたを惹きつけてきた表現の全ては、内側から語りかけるわたしの声であったのです。これまで外の世界で顕現してきた事象の全ては、あなたの人間的意識に働きかけ、必要な影響を与えるための手段であったのです。

わたしはあなたの人間的意識ではなく、またその派生物、つまり知性・思考力でもありません。それらは、あなたがわたしの存在表現であるのと同じように、あなたの存在表現の一部にすぎません。知性や思考力は、あなたの人間性の一面にすぎず、真の意味でのあなたは、個に非ざる「神的なわたし」の一部なのです。

これらのことをきちんと受け止め、よく学んでほしいのです。

今こそ立ち上がって、自分は一個人に過ぎないという考え方 - つまり過剰な自意識と自惚れをもたらす思考と知性の支配から、自身を解放放つのです。

わたしの言葉があなたの魂レベルの意識に浸透できるようにするには、思考はあなたにとっての奉仕者となるべきであり、また知性はその労働者となるべきなのです。

真我(アイ・アム)の意識が今、あなたの魂に訪れます。わたしの言葉を受け取ることができるよう、あなたの魂にわたしの息吹を与えました。

さあ、あなたにこの力があるのなら。

あなたの個人的嗜好や信条、意見(その殆どは他の人々が捨てていった物をかき集めたような物ですが…)を、忘れる事ができるなら。

もし、それらを捨て去ることができるなら。

わたしの言葉はあなたにとって、終わることのない喜びと祝福の源となるでしょう。

これから読み進めるにつれ、あなたの小我はわたしの言葉に疑いを持つでしょう。あなたがわたしの言葉をハート、心の部分に迎え入れ、それがそこに住まうことを許すなら、小我はこれまでのようにあなたの思考や感情、行動を支配することができず、その存在そ

のものを脅かされることになるからです。

そう、「神我(アイ・アム)」の意識があなたに訪れています。

わたしの存在をあなたが意識できるように。

わたしの存在を知り、わたしの存在の意味を理解することができるように、あなたの人間的意識をわたし自身が調べてきたのだから。

わたしは、これまでもずっとあなたと共にいましたが、あなたはわたしの存在に気付きませんでした。

数々の本や教え、宗教、哲学の間を彷徨う時にも、あなたの魂の目が「約束の地」を見つめ続けることができるように、わたしが導いてきたのです。あなたが神のパンを思い出し、尊重し、それこそを切望するよう、わたしがマナ を与え続けてきたのです。

さあ今、あなたはヨルダン川のほとりに導かれ、聖なる遺産は川の向こう岸にあります。今こそ、わたしの存在をあなたが意識の上で「知る」時です。祝福の地、カナンへと渡る時が来たのです。

準備はできていますか？

川の向こうへ行きたいですか？

「証の箱」であるわたしの言葉に従うなら、あなたは靴を濡らすこともなく、川を渡ることができるでしょう。

第一章 終

二章 ただ静まって、知りなさい

わたしについてもっと知り、今この言葉を伝えているのは実にあなたの真我であるという事を確認するためには、まず「静かになること」を学ばなければなりません。あなたの思考・知性的部分と、身体とその活動全体を静め、それらがもはや気にならないという状態になるのです。

あなたはまだ、完全にはその状態になれないかもしれません。あなたが本当にわたしを知りたいと思っているのなら、わたしがその方法を教えていきたいのです。わたしを信頼し、わたしの求める事を実行し、それを示してほしいのです。

よく聞いてください。

今読んでいるこのページを通してあなたに語りかけているのは、あなたのハイヤーセルフ、もしくは聖なる自己であり、あなたの思考と知性を導き、助言を与えている、というふうに考えてみてほしいのです。暫くの間、わたしを分離した別の人格であるように感じるかもしれません。あなたの人間的意識は、過去に体験したり学んだりした事、つまり知性で説明できる事以外は、一切受け入れられないような性質を持っています。そのため、あなたが本来の意識に目覚めるまで、まずは知性の部分をもって真実を理解していくために、このような言葉や表現を利用しながら、あなたの人間的意識に語りかけていくのです。

「わたし」は「あなた自身」、あなたの「真我」であるという事実。これまであなたの人間的意識は、思考と身体の部分に限った自己耽溺的・利己的欲求を満たすために働き続け、あまりに忙しかった。そのため、あなたの神であり師である真の自己、真我を知る機会さえ無かったのです。思考と身体の快楽・苦痛に関心を持ちすぎ、そこからの影響が大

きすぎたため、あなた自身が思考・身体そのものであると思い込んでしまい、わたしを、つまりあなたの真我を忘れてしまったのです。

わたしはあなたの思考・身体ではありません。

このメッセージは、「あなたとわたしはひとつである」ということを伝えるものです。ここでわたしが話す言葉、教えの主な目的は、あなたの意識をこの偉大なる事実を目覚めさせることです。

あなたがこの思考と身体 of 奴隷状態から解放されない限り、この事実を悟ることはできません。わたしが居ることを悟る前に、わたしをあなたの中で感じなければなりません。

さて、人間的意識とその思考、そして身体とその感覚からいったん遠ざかって、わたしをあなたの中に感じることができるよう、ここからわたしのガイダンスに注意深く従ってほしいのです。

リラックスできる姿勢で座ります。心身ともにくつろいできたら、この言葉の意味をあなたの意識へと受け入れてみましょう：

静まって、わたしこそ神であることを知れ。

頭を空っぽにし、この言葉を魂の奥深くへと浸透させます。これは、神からのあなたへの指示です。そこから感じる気持ちや印象を、どのようなものであれ抑えることなく、起こるままにしてみてください。この感覚はどのような意味を持つのか、よく観察してみてください…。あなたの中に在るわたしは、これらの印象を通してあなたを導いていきます。この感覚、印象の中心にある意味を何となく感じてきたら、この言葉を今度はゆっくりと、そして堂々と、声に出して言ってみます。全身の細胞、精神の隅々にまで届くように、あなたの意識の力全てを使って。静まって、わたしこそ神であることを知れ。

あなたの中の神が、あなたに対し切実に、絶対的な信頼を求めているのを感じながら、声に出して読み上げてみます。

この言葉を覚え、ここに秘められた力を見出すのです。

この言葉をあなたの中で育み、仕事などで外に出かける時も、この言葉があなたと共にあるようにしてください。日常的な行動、思考活動においても、この言葉の力があなたに大きな影響を持つように。言葉の最も奥にある意味を見つけるまで、一日に千回唱えてもいいほどです。「静まって」と言うだけですぐに、身体中の全細胞が喜んで応えるようになるまで。

思考が彷徨い、あなたを困らせる時も、この言葉により無の状態へと落ち着く事ができるのです。

空(くう)であるあなたの存在全体に、この言葉を更に響かせる時。意識の地平線に悟りの陽が昇るのを感じます。

身体の隅々に、素晴らしくも奇妙な呼吸の感覚が行き渡ります。そこから生まれる忘我の感覚、そして抗うことのできない、強大な力があなたの中に波のように押し寄せ、宙に浮くかと思うほどの高揚感を感じるでしょう。神の栄光、聖なる意識、「わたし」の光を「あなた」の中に感じているのです。

「あなた」の中の「わたし」こそ、神であることを知るのです。

このような体験を通し、わたしをあなたの中に感じる時。わたしの光を垣間見る時。わたしの智慧の声を聞く時。全ての存在へそそがれる大いなる愛を知り、忘我を体験する時…。そのような状態にある時、いかなる病もあなたに触れることはできず、誰もあなたの敵とならず、何事もあなたを挫くことはできません。

わたしがあなたの内に居ることを知った今、あなたは必要な時いつでもわたしを信頼し、語りかけ、わたしの意思が表に現れるのを許してほしいのです。あなたがわたしを頼る時にはいつでも、必ずわたしはあなたを支え、助けます。そしてあなたはわたしの存在、力を理解し、あなたが何かを望む時はただ「静まって、わたしこそ神であること」を知るだけでいいのだと、悟るようになるでしょう。あなた自身の病や、誰かの病を癒したい時。真実を知りたい時、不可能だと思われた何かを成し遂げたい時にも。

このような悟り・認識は通常、すぐにやって来るものではありません。その時は数年先かもしれないし、明日かもしれない。

全ては「あなた」にかかっています。

人間的常識や願望の中に生きる「個人的あなた」ではありません。あなたの真我(アイ・アム)の意識、あなたの中の神である「あなた」にかかっているのです。

例えば、植物の蕾を花開かせるのは誰ですか。鳥の卵から雛を孵すのは誰でしょうか。そして、その時を決めるのは？

それは、その存在の内なる知性による、意識的且つ自然な行為なのです。「遍在するわたし」の導きにより、その内在の知性がイデア・観念 を実現させることで、蕾が開花し、雛が孵ることができるのです。

蕾や雛は、その時を自分で決めたのでしょうか？もちろん違います。わたしの意思と結ばれた蕾や雛は、その機が熟するのをわたしの力と智慧に任せ、わたしの意思から来る衝動に応じて動いたからこそ、その新しい生命を誕生させることができたのです。

個人としてのあなた（パーソナリティのみの部分）が、その人間的力をもって目覚めを達成しようと努力する事はできます。しかしその結果、あなたは有形世界と無形世界の間にある扉を壊してしまい、あらゆる侵入者から自分自身の領域を守れなくなり、結果多くの混乱や苦しみをもたらしてしまうでしょう。

それでも、このような苦しみの体験からあなたは強くなり、智慧を得る事もできます。そして知識への欲求や、良くなりたいという願望、わたしと一体でありたいという願いも含め、全てをわたしに明け渡した時にこそ…、あなたの花卉は開き、小我の殻は破かれ、神性の完璧な美を表し、天の御国に足を踏み入れることとなるのです。

それゆえ、あなたにわたしの存在を感じてもらえるように、わたしはまずあなたにガイダンスを与えたいのです。

約束します、ここに与えるガイダンスを熱心に理解し聞き従うなら、間もなくあなたはわたしを知ることになります。そしてあらゆる場所に記されているわたしの言葉、例えばあらゆる本や教えの中に、自然界に、あなたの友達の中に…。あらゆる場所に存在するわたしの言葉を、あなたは全て理解できるようになります。

この本の内容に矛盾があると感じる部分があれば、理解を諦める前に、わたしの真に意味するところを求めてください。たとえ一節であっても、ひとつの事柄であっても、示唆されている事が明らかになるまで、飛ばしてしまってはなりません。

あなたの探求心、努力の全てをもって、あなたの中の真我であるわたしに頼りなさい。わたしを信頼しなさい。その結果どうなるのか等と、心配してはなりません。なぜならその結果も、わたしが司り、護っているからです。疑いの気持ちや不安感「個人的なあなた」の部分から来るものであり、そこに固執し過ぎてしまうと、誤りと失望を引き起こしてしまうのです。

第三章 わたし、生命、神という存在

ここまでわたしが話した事を聞いて、あなたの中の何かが動き、あなたの魂がさらに先を求めているなら…これから話すことを受け入れる準備ができているという事です。

もし、この内容があなたの聖なる自己、真我から来ているという事に疑いや反感を抱いていて、「この本もまたうまい事を言って、わたしを騙そうとしているに違いない」という小我の声の方を信じるなら、おそらく、これからわたしが話す内容から学ぶ事はないでしょう。これらの内容は、小我の意識にはまだ理解できないようになっているので、わたしの言葉はまた他の表現方法を通して、小我に伝えられることになります。

「個人的あなた」が、この声がわたしから来るものであると思えず、知性の部分で疑いや反発を感じているというのなら、それは当然の事です。「個人的あなた」の部分に反発を感じさせているのも、実はわたしなのですから。

完璧なかたちでわたしを表現できるよう、あなたの精神と身体を強くするために、自尊心を伴ったあなたの個人的意識を、わたしはまだ必要としています。こういった理由から、わたしを知る準備がきちんと整うまで、個人的あなたが疑いと反発を感じるのは自然なことなのです。

わたしの力を理解した時にこそ、個人的あなたは自分の力をわたしに明け渡し始めるでしょう。個人的意識の支配は終わりに近づき、あなたはいつでもわたしにガイダンスと助けを求める事を覚えます。

さあ、だから怖がらないでください。読み進めれば、認識はやってくるでしょう。しかし覚えていてください、あなたが読み進めるか、ここで止めるかを決めるのも、結局はわたしなのです。

ここで読むのを止めようとしているあなたに対しても、わたしは別の計画があります。時が来れば、あなたが何をしようとして、何を好きになろうと、何が欲しくなろうと、あなたの「個人的幻想」の中を導いているのはわたしであると気付く時が来ます。結局、それら全てが非実在であったと悟り、実在するただ唯一の存在、わたしに頼る事を覚えるでしょう。そしてあなたの中のわたしは、このように応えます。

静まって、わたしこそ神であることを知れ。

そう、わたしはあなたの中の最も深い所に在り、時間と空間などの制限を知ることなく、ただ静かに待ち、観じているのです。なぜなら、わたしは永遠そのものであり、全ての空間を満たす存在だから。

空虚な願望、野望を抱き、そして落胆し…。あなたがあまりに人間的な間違いや弱さに陥ってしまう日々にもやがて終わりが来るという事を、わたしは知っています。失望し疲れ切ったあなたは、謙虚な心に還り、全てを明け渡し、わたしの導きを頼る事となるでしょう。それまでもわたしは、あなたを絶えず導いていたという事も知らずに。

そう、わたしは静かにその時を待ちながら、実に今、あなたの中に居ます。あなたを待つ

間にも、あなたの行く先々を導いてきました。人格という制限を持たない存在として、あなたの思考と行動全てにインスピレーションを与えてきました。あなたや他の人々が皆、最終的にはわたしを意識的に知るようと、ずっと導いているのです。

そうです、わたしはずっとあなたの胸の中に居たのです。楽しい時も、悲しい時も、成功した時も失敗した時も、たとえあなたが悪い事をして、恥ずかしい思いをした時であっても。あなたが兄弟や神に対して、罪を犯したと感じた時であっても。

あなたが道をまっすぐに歩いている時にも、彷徨う時にも、後ずさる時でさえ、いつでもわたしがあなたを導いてきました。

あなたが遠くから、ぼんやりとわたしの姿を見つけた時、あなたの中に強い衝動を与えたのもわたしでした。

魅力的な顔や、美しい身体、それらから来る喜びや憧れに夢中になっている時にも、わたしの姿をその中に映し出し、あなたがわたしへと向かうように導きました。

あなたが罪深い行いの中にあつた時、弱っていた時、欲深く身勝手であつた時。そしてその影響に苦しんでいた時。あなたの前に現れ良心を呼び起こし、あなたの目を覚ましたのもわたしです。そのような行いの不毛さに気付き、嫌悪感を感じ、新しい未来を選択した時にも、深部にはわたしの影響があつたのです。

そう、わたしはあなたの行動の全てに関わっています。深く見てみると、あなたの行いの全てが実はわたしによるもので、あなたの周りの人々の行いも同様である事が分かるでしょう…。あなたの中に居るのも、彼らの中に居るのも、このわたしなのだから。

わたしは、生命(いのち)なのです。

あなたの身体に生命を与え、心臓を動かし、頭でものを考えたりできるようにしている存在。「わたしは在る(アイ・アム)」の意識。

あなたの最も深い所に在る者、霊であり、あなたの存在に、そして全ての目に見える存在・目に見えない存在に、生命を与える者なのです。

死というものは存在しません。わたしが、つまり全ての境界を超えた一なる者(インパーソナル・ライフ)が、全てを満たしているからです。無限の存在であるわたしには、何の制限もありません。宇宙こそがわたしの身体…、全ての知性体はわたしから生まれ、ありとあらゆる愛がわたしのハートから流れ出し、あらゆる力はわたしの意思が動きとなって現れたものなのです。

智慧、愛、力の三つの要素。つまり光、熱、エネルギーとして世界に現れているものが、全ての形あるものを創造し、またあらゆる生命の側面、表現の背後に存在しています。これはわたし自身が顕現したものに他ならず、わたしの存在そのものなのです。

存在するもので、わたしの要素を表現していないものなどありません。わたしは全ての形態の創造主であるだけでなく、全てのもののの中に棲まう存在なのです。それぞれの存在のハート、胸の中にわたしは在ります。人間の胸の中、動物の胸の中、草花の胸の中、石ころの胸の中…つまり、それぞれの生命の中心にわたしは生き、はたらくのです。そして、その生命存在を通して表現したいと願うわたしの側面・性質を、外の世界へと表現し、それが石ころ、草花、動物、人として顕現していきます。

ここであなたは疑問に思うでしょう、「それじゃあ、世界にはその『偉大なるわたし』とかいうやつしか存在しないの？僕自身の個性を持つ事は許されないのか？」

現に、唯一の実存的存在、アイデアそのものであるわたしの外に存在するものはなく、全てをわたしが、永遠に司っています。

言わばあなたの個人性というものは、世界から分離した自分というものを保とうとする、一時的なパーソナリティなのです。

間もなくあなたは悟る事となります。一時的な個人性というものは、わたしと離れた状態ではそもそも存在しないのであり、分離という幻想の中に生まれた個人性、全てのパーソナリティというものは、神たるわたし、つまり境界を超えた無限の意識の中に、寂滅するものであることを。

実に、あなたはもうすぐ目覚め、境界のないわたしの存在を感じることができるようになるでしょう。それからは、自分の個人性や分離感への執着というものは無くなります。なぜなら、一時的なパーソナリティというものもまた、幻想のひとつに過ぎないと悟る事になるからです。

第三章 終

第四章 意識、知性、意志

わたしにはよく分かります。今この文章を読んでいる間にも、あらゆる考えがあなたの頭の中を駆け巡っている様(さま)を。疑いの気持ちや探究心。ぼんやりとした恐怖感だったものが、少しずつ希望に変わってきたかもしれません。あなたが直感的にわたしの言葉の奥に感じ取っている真実を、よりはっきりと知ることができるよう、更なる光が必要であると。

あなたが微かに感じている光は、あなたの人間的無明を照らし始めています。

もう一度言います。今話しているわたしという存在は、あなたの真我なのです。わたしの言葉をきちんと理解するためには、今あなたの人間的意識に対して話をしている「わたし」が「あなた自身」であるということを、よく理解しておく必要があります。

またわたしは、生命の最小単位である素粒子から太陽に至るまで、全ての存在の生命であるということ。この神我(アイ・アム)の意識こそが、あなたの中に、そしてあなたの兄弟姉妹の中に棲まう存在であるということ。全ての存在を生かし、育み、その存在表現を顕現させている知性であるということ。

おそらくあなたは、この「わたしは在る(アイ・アム)」の意識が一体どのようにしてあなたの中に、あなたの兄弟姉妹の中に、石や植物、動物の中に同時に存在できるのか、まだ理解できないでしょう。それでも、わたしの言葉、ガイダンスに聞き従っていくと、あなたの意識の最も深い場所に光が届き、人間的な思い違いや思い込み、認識を暗くしてしまうような意見等を打ち消していくので、このことも理解できるようになります。

だから、よく聞いてほしいのです。

わたしは、あなたに他なりません。あなたの真我。真のあなたであるところの全てなのです。あなたが自分で認識しているあなたは、本当のあなたではありません。それは幻のような非実在のもので、本来のあなた - つまり、わたしであるあなた、不死不滅の「神で

あるあなた」の影、似像にすぎません。

あなたの人間的意識の中で、自分自身を「わたし」と認識している特定の部分が、「わたしは在る(アイ・アム)」の意識です。わたしは、あなた自身が意識している「わたし」でもあるのですが、あなたが「わたし自身の意識」と呼んでいる意識全体が、実はわたしの意識なのです。わたしの意識が、あなたの人間的意識の許容範囲内に収まるように、言わば希釈されたような状態のものなのです。それでも、あなたの意識はわたしの意識であり、あなたが人間的思い違いや思い込み、認識を暗くする意見の全てをそこから一掃し、空(くう)の状態を保てれば、わたしの意識があなたを通して自由に表現できることになります。そこであなたは内在のわたしを認識し、自身がわたしの意識の部分であり、わたしの表現が顕現するための媒体であるということを悟るでしょう。

おそらく、まだあなたはこの事を理解できません。無論、わたしがあなたの知性の部分を確認させ、その人間的意識をきちんと調えるまで、信じる事はできないでしょう。

あなたは、身体の細胞ひとつひとつに意識、知性があると知っています。その一つひとつの知的活動が、大我なる意識[永遠、自在の働き]の存在無しに、果たして可能なのでしょうか。

細胞の一つひとつが、他何百万もの細胞に囲まれ、またその一つひとつがそれ自身の働きをしながらも、明らかに他の細胞の意識全てと繋がり、集合的知性として存在し、その集合体としての機能も果たしている…。そして、この集合知性はある内臓器官として成り立っており、同じように他の集合知性は他の内臓器官として存在し、各器官が何百万という細胞で構成されている。その全てが成り立って、あなたの身体を造り上げています。

全ての内臓、つまりはそれを構成する全ての細胞を司り、コントロールしているあなたは、一体何者なのでしょう。

人間意識、個人意識であるあなたが、それら全てを行えるはずがありません。実際あなたの顕在意識は、自分自身の内臓ひとつをもコントロールできないでしょう。

それらを司っているのが、この非人格的わたし、神我(アイ・アム)の意識なのです。そしてそれは、小我であるあなたではないけれども、あなたの真我 - つまりあなた自身であるのです。

よく聞いてください。

「真のあなた」と「わたし」の関係は、細胞の意識と身体の関係と同じです。

あなたは言わば、わたしの身体の細胞であり、そしてあなたの意識はわたしの意識を構成する細胞であると言えます。

そのため、あなたの身体の細胞が持つ意識も、わたしの意識だと言えるのです。だから…我々は、意識においてひとつなのです。細胞、あなた、そしてわたしはひとつのもの。

あなたは今、自分自分の身体の細胞ひとつをもコントロールすることができません。しかしあなたが、その自由意志において、神我(アイ・アム)の意識と結ばれ、わたしとひとつであるというその本性を悟った時、あなたの身体の細胞全てをコントロールできるだけでなく、あなたが助けたいと思う者の身体に対しても力を持つことができます。

もしも、この意識が身体の細胞をコントロールするのを止めれば、何が起こるでしょうか？身体は崩壊し始め、細胞は分離し、その仕事を終える事となるでしょう。それでも、細胞そのものが死んだり、意識を無くしてしまうのでしょうか？そうではありません。それらは一時的に眠りにつくだけで、暫くすると他の細胞と再び結合し、新たな組み合わせが生まれます。遅かれ早かれ、これらの組み合わせはまた他の生命体として、世界に顕現

する事になるのです。鉱物として、植物として、動物として…元の細胞がまだ意識を持っている事を証明しながら、わたしの意思により新たな有機体を形成し、わたしの望む新たなはたらきを現していくのです。

この意識を持つ細胞というものは、鉱物、植物、動物、人間、どの存在も共通して持っているもののようですが、それぞれの細胞に相応しいはたらきがあり、適した場所というものがあるのでしょうか？

その通りです。細胞は、個体意識を超えたインパーソナル な存在であり、与えられたはたらきを達成する事以外には目的を持ちません。与えられた場所で、自身のはたらきをするためだけに生きています。ひとつの仕事を終えた時、それは再びわたしの意思を受け、また次の仕事に取り掛かるのです。

そしてあなたのはたらきも、細胞のそれに似ています。

わたしの身体の細胞とも言えるあなたという存在は意識を持っていますが、その意識はわたしの意識でもあります。あなたの知性もまたわたしの知性であり、そしてあなたの意思でさえも、わたしの意思であると言えます。つまり、自分自身のためだけにはたらく意識、知性、意思というものは実は存在せず、自分だけが所有するものであるとは言えないのです。それらは全体であるわたしに属しており、わたしのはたらきそのものであるのです。

さて、わたしの意識・知性・意思は、完全に非個人的で境界を超えたものなので、あなたもわたしの意識・知性・意思を持っているし、わたしの身体の細胞とも言える他の存在たちも、そしてあなたの身体の細胞全ても、わたしの意識・知性・意思を持っているのです。

あなたの中で、そして全ての存在の中ではたらく境界を超えた(インパーソナルな)わたしの意識は、あなたの、そして全ての存在の神我(アイ・アム)の意識を造り上げているものです。この意識はちょうどあなたの身体の細胞たちのように、個人・個体という境界を超えてはたらかなければなりません。この神我(アイ・アム)の意識というものは、あなたの中、あなたの兄弟たちの中、全ての存在の中にありながらも、ひとつであるのです。

「わたし」は、全てを導いているこの知性のことであり、生ける霊、命、全てに存在する意識であるのです。

さらに深く見てみると、「あなた」、つまり「本来のあなた」、個人という境界を超えたインパーソナルなあなたという存在は、全ての存在とひとつであり、わたしとひとつであるのです。ちょうどわたしがあなたの中に在り、全ての中に在り、そこからわたしの実存を表現しているように。

あなたがあなた自身の意思だと思っているものは、あなたという個人だけのものではありません。あなたの意識、知性、身体の細胞も同様です。

あなたの意思というものは、わたしの意思の一部をあなた個人に任せたものなのです。あなたが自分自身の中のある特定の能力・才能に目覚め、意識的にそれを用い始める時、あなたが無限の力を発揮できるよう、わたしがはたらきます。

全ての力・能力とその行使については、わたしの意思とはたらきをどれだけ認識し、理解できるかにかかっているのです。

あなたの意思、そしてあなたの能力の全てが、わたしの意思の現れです。わたしの意思が、あなたの器に合うかたちとなって与えられたものなのです。

わたしの意思であるこの力の扱いについて、あなた自身が充分自覚する前に全てを任せて

しまったとしたら、あなたの身体はその力に耐えられず、消滅してしまいます。

時にわたしは、あなたが所謂“罪”や間違いを犯すことを許しました。それはあなたの強さを試すためであり、そしてわたしの力を誤用するとどうになってしまうか、あなたに教えるためでした。時には、あなたの感覚全体をわたしの存在で満ち、わたしの力、知性、そして愛があなたを通して顕現され、あなたの個人的な目的にもそれらが現れるのを許しました。しかし、この力をコントロールできるほどの強さがないと、力そのものが制御を振り切り、あなたの自制心を失わせ、結果あなたは窮地に陥ってしまいます。そして力はあなたから去ってしまうでしょう。

あなたは気付きませんでしたでしたが、あなたが挫折の中にあった時、いつでもわたしは側にいて、あなたを助けてきました。倒れてしまったあなたを助け起こし、なぜそうなったのか教え、新しい方向を指し示したのです。そしてついにあなたは謙(へりくだ)る事になります。わたしの意思・知性・愛に気付く事から生じるこの力は、個人である自分のためではなく、わたしのために用いられるべきである事を知るのです。

あなたの身体の細胞、例えば腕の筋肉は、あなたと別の意思・知性を持ち得るでしょうか？無論、それらはあなたの意思・知性しか知り得ません。

もうすぐあなたは、自分自身がわたしの身体の細胞である事を理解するでしょう。あなたの意思はわたしのものであり、あなた個人のものではないという事。あなたの意識、知性は全てわたしのものであるという事。分離したあなたという「人間」はそもそも存在しないという事。人間として脳と身体を有するこの「あなた」は、わたしの実在・アイデアを物質世界に顕すため - つまり、あなたという存在を通して表現されるべきわたしの属性を現すため、わたしが創造したものであるという事を、あなたは悟るのです。

今のあなたにとってこのような事を受け入れるのは難しく、強く抵抗を感じるかもしれませんが。目で見ることのできない、未知の力。境界を持たない神のような存在などに、自分の身を委ねる・従うという事は、個人的あなたの本能からすると、抵抗すべき事でしかありません。

それでも、恐れることはありません。抵抗しているのは「個人的あなた」の部分でしかないのです。わたしの言葉を学び聞き従っていくにつれ、全てが明らかになります。あなたの内的理解をわたし自身が着実に進め、今のあなたには理解できない驚くべき真実の数々を明らかにしていきます。そしてあなたの魂は喜び、歌い、その天声がもたらす真実を賛美する事になるでしょう。

第四章 終

第五章 鍵 - 思考する者は創造する者である

この「わたし」という存在、神我(アイ・アム)の意識を、今のあなたはまだ理解していません。ましてや、この「わたし」が実際に「あなた」であり、あなたの兄弟姉妹たちであり、それぞれがわたしの要素であると同時に、わたしとひとつである - とても信じ難い事でしょう。

あなたはまだ理解していないかもしれませんが、死すべき運命にある人間存在の中にも、魂という実在・不死不滅の部分があり、そしてその魂は「わたし」の属性が自然界に表現されたもののなのです。

あなたも、そしてあなたの兄弟姉妹たちも、聖なる自然が現れたもののなのです。ちょうど、あなたの人間としての人格・個性が、あなたの身体・思考・知性を通して現れているように。

分かっています、あなたにはまだこれらの事が理解できないでしょう。しかしわたしは、今あなたに伝えます。あなたの意識にその事実を示す兆しが現れた時、あなたがそれを認識できるよう、今あなたにこの事を伝えているのです。その兆しは、確実に現れます。これらの兆しをあなたが認識できるように、これから伝える内容についてきちんと考え、学ぶようにしてください。ここに伝える意味をきちんと、少なくともある程度深く把握するまで、先に読み進めないようにしてください。

ここにわたしが示す原理を一旦きちんと理解すれば、わたしの伝える事の全てがより明らかになり、把握しやすくなるでしょう。

まず、わたしを見えなくしてしまっている謎の全てを解く鍵を、あなたに渡したいと思います。

この鍵の使い方をひとまず理解すれば、天地にあまねく全ての叡智・力へと通じる扉をも開くことができます。そう、つまり天国の扉を開け、意識的にわたしとひとつになることができるのです。

その鍵とは、「思考する事は創造する事である」という真理であり、「心の中で思った事は、そのままあなたと共に在る」という事実なのです。

ここで読み進めるのを一旦やめ、この事についてじっくり考え、心の中にこの真理をしっかりと浸透させましょう。

思考する者は、創造する者である。

思考する者は、彼の意識的創造の世界に生きているにすぎない。

「思考の仕方」さえきちんと理解できれば、あなたは自分の欲しい事物を、意のままに、何でも創造できるでしょう。今自分にはない性格や特性を得る事もできるし、新しい環境、新しい世界さえも創造できるのです。

この鍵が無かったため、あなたはずっと真実を見る事ができなかったのです。この事について考えてみましょう。

あなたは、全ての意識はひとつであるという事を示されました。全ての意識はわたしの意識であると。同時に、その意識はあなたのものであり、それぞれの動物、植物、鉱物、目に見えない細胞の意識でもあると。

目に見えない細胞が結合して様々な生物となり、それぞれの「知性の中心」からわたしが意図する通りにその存在を表現している事から分かるように、わたしの意思が全ての意識を司っているということ。

しかし、あなたはまだ自身の身体の細胞を導き、制御する方法を知らないし、ましてや他の身体に対して影響を与える事もあります。その意識と知性において、わたしとあなた、そして彼らは皆ひとつであると言うのに。

今こそ、その方法を理解するため、これから話すことを特に注意して聞いて欲しいのです。

あなたはこれまでに、意識とは何であるかについて、深く考えた事がありますか？意識というものが、個の境界を超えた状態であるということ。意識そのものの奥深くに眠っている何らかの力が存在し、意識はそれによる導きを求め、それに対する奉仕を望んでいるという事を。

そして、この内在意識を有している生物の中でも、特に人間という存在が、最も進化した種であることを。

人間の、そして全存在の意識の中に眠るこの力もわたしの意思であり、全てはわたしの意思が顕現したものに他なりません。

さて、人間は「わたしのかたちとして、わたしに似せて」象(かたど)られ、その後わたしの命の息を吹き込まれ、生ける魂となったと伝えられています。

わたしは「わたしのかたちとして、わたしに似せて」人間を創造することで、わたしの意識と意思の全てを、つまりはわたしの力の全て、知性の全て、愛の全てを表現できる生命体を創り上げたのです。それゆえ人間という存在は本来、わたしの完全性に倣い創造された、完全なる存在なのです。

わたしが人に命の息を吹き込んだ時、人はわたしと共に生ける存在となりました。命を吹き込んだのは、わたしの意思によるものであったからです。命の息は人の外側からではなく、内側から吹き込まれました。人の内に存在する天国という場所、永遠にわたしが棲まう場所から。それ以来ずっと、わたしは人の中で息をし、そこに棲まい、そこに存在してきたのです。わたしが自身のかたちとして、わたしに似せて人を創造したのは、この目的のためだったからです。

その証しとなるのが、人は自分で呼吸をしているわけではない、自分では自然に呼吸ができないということです。彼の意識よりももっと大きな何か、彼の中の何か自然な存在が、彼の肺を通して息をしているのです。身体の中に存在するこの偉大な力が肺を作用させており、さらに心臓を作用させ、肺から取り込んだ生命力を、血液を通して全ての細胞に送り届けているのです。同じように、その力は胃などの臓器を作用させ、食物を消化・吸収し、血液やその組織、髪の毛、骨などを作ります。そしてその力は脳、口、手足を使って、考えたり話したりしているのです。

この力は、人として存在し生きるというわたしの意思です。従って、人という存在は誰でもわたしであり、人の為す事、そしてあなたの為す事はわたしが行っており、またあなたが話す事、考える事も、わたしがあなたという生命体を通して話したり、考えたりしているのです。

そしてまた、人がわたしの息を与えられた時、地上の全てのものを治めるようにと言われたのを、あなたは知っているでしょう。地上のもの、海のもの、空のもの、エーテル圏に至るものまでも、全ての生物は人という存在を讃え、人の意思に任せられたのです。

人の意識の中に在るわたし、全ての存在の意識の中に在るわたしは、常に意思を顕現していきます。すべての人の主であり治者であるわたしは、同じように、意識を持つ全ての生命体の主であり、治者なのです。全ての意識はわたしの意識であり、生命がある場所であればどこにでもわたしは存在します。そして全てのものに生命は宿るので、わたしの意識は全てのもののの中に存在しているのです…地の中に、海の中に、空気の中に、火の中に。わたしの意識は空間を満たしています。事実、空間そのものもわたしの意識に他ならず、

人が宇宙と呼ぶものも然りです。

それならば、全ての存在の意識中に眠っているこの力、わたしの意思は、至る所にあるはずです。そして、わたしの意思が特定の点に集まったものが人の意思であるため、人の意思も同じように、至る所に届くはずなのです。それゆえ全ての生命体の意識は、人類が導き、調えるべき対象だと言えるのです。

人類が、それを意識的に認識するだけで良いのです。それぞれの中に存在するこの非個的（インパーソナルな）存在が、常に全ての存在を導き、その意識を使って一瞬一瞬を調べているということを、理解することです。

わたしは、人の思考を使ってそれを成し遂げています。

わたしは、人間という生命体を通してそれを行っているのです。人は、自分が思考していると思っています。しかし実際にはわたしが、つまりは彼の真我が、彼という生命体を通して思考しているのです。彼の思考と彼の話す言葉を通して、わたしは彼の為す事の全てを行い、それによって彼と、彼を取り巻く世界を創造しているのです。

もし、彼と彼を取り巻く世界が、彼自身が想定している通りのものでなかったとしても、大した影響はありません。

それは、わたしの意図によって創造したものなのです。

「もし “あなた” が全てを思考しているのなら、人間自身はものを考えたりしないだろうし、そもそも考える事ができないのでは？」と、あなたは思うでしょう。

これから話す事を注意深く聞いていれば、この謎も明らかにされていきます。

これから、あなたがた「人間」に…わたしが思考の仕方を教えていくからです。

第五章 終

第六章 真の思考と創造

人は思考していない、とわたしは言いました。彼の中に在るわたしこそが思考しているのだと。また、人は自分で考えていると思い込んでいる、とも言いました。

この矛盾について明らかにしてみましょう。人は誰もがたいていの場合、真の意味では思考しておらず、そして自分で行っていると思っていることがどれも、自分で為しているわけではないということ。

どうしてそう言えるのでしょうか？

まず、あなたはわたしのかたちとして、わたしに似せて創造され、そしてわたしの存在があなたの中に在るのだということについて、考えてみてください。たとえ今はこのことを理解できず、わたしは、つまり神は自分の外側のどこか遠くにいて、わたしたちは離れなければならないのだと信じ込んでいる、少しの間、わたしがあなたの中に存在していると想像してみてください。

次に、あなたは意識的に思考していないので、あなたが考えている時に為していることは、真の意味での思考とは言えない、ということを確認してみてください。意識に現れる全ての考えに対し、靈感やガイダンスを与えているわたしの存在を、あなたがこれまで意識することがなかったからです。

そして次に、わたしはあなたの中に在り、あなたはわたしのかたちとして、わたしに似せて創造されたため、あなたにはわたしの能力が全て備わっているということ、あなたは思考による力を有しているということ、理解してください。しかしあなたが、思考は創造行為であるということ、あなたの思考力は神の力の一部であるということ意識できていなかったため、あなたはこれまでの人生で確かに「考えて」きましたが、それは全て誤った思考であり、全てがいわゆる「勘違い」とも呼べるものなのです。

これまで無意識的に使ってきたこの思考力がわたしの力であると知らなかったこと、このあなたの勘違いのため、あなたの意識はわたしの意識からどんどん遠ざかっていったのです。その間にも、わたしの意思はずっと全うされてきました。そしてこの意思は後に、あなたに対して顕現されるものなのです。

この事はすぐに確かめられます。実際、あなたはわたしと離ればなれになっていると考えているでしょう。今あなたは物質世界に生きていて、あなたの肉体は快・不快を経験し、そして世界には悪魔と呼ばれる悪い存在がいて、神の意思に反することが起きていると。そう、あなたはこういったことが当然であると考えている。

だから全てが今、そのようにあるのです。自分は死すべき存在であると信じ込んでいる人間的な意識も、その通りに現れています。

彼らが信じ込んでいる人間というものを、わたしはその通りに現しました。それさえも、わたしの意図に適ったものであり、わたしの創造の法則を満たすものであったのです。

この事について考えてみましょう。

ある物事の状態について、あなたが信じ込んでいる事があるとします。

あなたが信じ込んでいる事は、あなたにとってリアルなものとなります。例えば罪や、悪というものの、悲しみという感情、悩み事、心配する気持ちなども。「この事象はこういう状態である」とあなた自身が考え、信じ込んでいるため、その結果その事象がその通りに現れているだけなのです。他の人が同じ事象を見ても、全く違う事を考え、あなたの物の見方は馬鹿らしいと思うかもしれません。そうですね？

あなたの身体、個性、人格、周りの環境、あなたの世界の全ては、今ある状態をあなた自身で考え出したため、あなたにとってそのように現れているだけなのです。

従って、もし好ましくない現状があれば、あなた自身が同じプロセスによって全てを変えることができます。あなたがそれらについて望み通りになるよう思考することで、全てをその通りにできるのです。

では、こういった変化を起こす真の思考、意識的な思考は、具体的にどうしたらできるのですかと、あなたは聞くでしょう。

まず、あなたの真我であるわたしが、意図的にあなたに対してこれらの真実を明かしているという事を知ってください。これらの真実は、今のところあなたにとって不愉快なものかもしれませんが、今あなたがこういった事について考えるようになったのも、わたしの意図なのです。わたしが、そしてわたしだけが、あなたの人間的思考を調える事ができるのです。あなたが信仰と信頼をもって内なるわたしに頼る時、わたしは、不満足に映る現状をあなたが徹見し、実在なるものを外界に顕現できるようにしましょう。

わたしがあなたに全てをもたらしています。この地上での探求の旅において、外界で起こっているように見える出来事は全て、あなたの人間的意識がわたしに気付くように、わたしへと導かれるように起こっているのです。外側の物質世界で起こる出来事は全て、人間的意識が見ている幻影のようで、人間的認識はいかに誤りに満ちているかということ、あなたに教えながら。それらを徹見することで、ついにあなたは、唯一の実在者、唯一の解釈者、唯一の導き手である内在のわたし、その智慧のみを頼りにする事でしょう。

こうしてあなたが内なるわたしに向かう時、わたし自らがあなたの目を開き、この事を教えましょう…思考に真の変化が訪れるためには、まず、あなたが今あると信じ込んでいる現象・物事に対する態度を変えること。今現れている現象の全てが、今あるかたちでなくともいいのだと、理解すること。

つまり、何らかの不満足、不快な出来事があって、あなたの身体や心に悪い影響を及ぼしているとしたら。それらの現象があなたに影響を与える事ができると信じる事を、さあ、ここで止めましょう。

考えてみてください、誰が主たる存在であるのかを。あなたの身体ですか、心や感情ですか？あなた自身があなたの主であるべきではないでしょうか、あなたの中の神我(アイ・アム)の意識こそが？

本来のあなた、つまりあなたの真我は、あなたに真の意味で思考してほしいのです。あなた自身が主であることを、この思考を通して証明していくのです。

的外れな考え方を自分に許してしまっているのはあなた自身であり、それにより、その不調和な考えがあなたに悪影響を及ぼすまでに力を与えてしまったのも、あなた自身なのです。自分の望まない物事に力を与えるのを止め、内側にいるわたしと向き合い、わたしがあなたの思考を導く事を許せば、あなた自身の思考力で作り上げたそれらの物事は、すぐにあなたの意識から消えてしまい、ただ無に帰するのです。

あなたがそれを望む時、その時にこそ、あなたは真実を受け入れる準備が整ったことになるのです。そしてまた、わたしが導く意識的な、然るべき思考方法により、真なるもの、永遠のものを共に創造していく準備が整ったこととなるのです。

真のものと偽物、実在と幻影とを見分けられるようになった時、あなたの意識的思考は、望むものを何でも創造できる力を持つことになります。それまでのあなたの無意識的な思考が、不快な現象の数々を創造してきたように。

これまであなたが無意識的に思考してきた事によって、そして無意識的にあなたの創造力を制限してきた事によって、今現在のあなたの世界、あなたの生活が成り立っており、そしてそれは過去にあなたが望んだ事でもあるのです。

あなたが何か新しいアイデアを思いつく時、その思考の過程を観察したり、分析してみた事はありますか？

その新しいアイデアをかたちにしたいという願望と、そのアイデアが思考を通して実際に具現化していく様について、観察したことがありますか？

この関係と過程を見てみましょう。

まず初めには、ただアイデアがあるだけです。その時点では、そのアイデアがかたちとして具現化するかどうかなど、気にしていません。そのアイデアがどこから来たのか、あなたの内側から来たのか、外側から来たのかと、気にすることはありません。あなたにひらめきを与えたり、何らかの物事について印象づけたりするのは、全てわたしのからです。

他の事についての考え事を一旦意識から取り除き、心を静かにし、そのアイディアにだけ集中してみてください。十分にそのアイディアに集中できたら、わたしはそこであなたの意識を明るくし、そのアイディアが持っている特徴や可能性についてを、あなたに明らかにしていくでしょう。

さて、ここまでの過程において、そのアイディアに注意を向け意識を集中する事以外に、あなた自身で行うべき事はありませんでした。

わたしがあなたの人間的意識に対しそのアイディアの可能性を示し、あなたの注意を引きつけたからこそ、あなたはそれに実際に着手することになったのです。つまり、わたしがそのアイディアを創造し、あなたの意識の中にひらめきを与え、それに対する願望を実らせたのです。そのアイディアが持つ可能性の全てを具現化してみたいという願望、わたしの意思の媒体・表現者となる願望。そしてそれを成し遂げる力…この力は、あなたの人間性を手段とし、その中に宿り、そこに集中しはたらくのです。

そうです。全てのアイディア、全ての願望は、こうしてわたしから来ているのです。わたしのアイディアと願望があなたを通して具現化するため、あなたの意識と心の中に実ったものなのです。

あなたが自分だけで思いつくアイディアというものはないし、わたしに由来しない願望というものはないのです。存在する全てが、わたしのものですから。

ですから、願望というものは全て良いものなのです。そしてこの事が理解できれば、どの願望もより早く実現されていきます。

わたしから来る願望、内側からの呼びかけを間違って解釈し、あなた個人の身勝手な目的のためにそれらを利用することもあります。そういったことを許す間にも、わたしの意思は果たされているのです。結局それは、わたしが与えた才能、力を間違って使っていることとなり、あなたはそこで苦しむかもしれません。それでも、その経験からあなたは無我を悟り、わたしのアイディアを現すための純化された、完璧な媒体となり得るのです。このように、まず意識の中にアイディアが浮かびます。続いて、それを具現化したい、実現したいという願望、欲求が芽生えます。この関係性についてはもう分かったでしょう。

思考と創造の関係性についてはもう分かったでしょう。さて、ここからは実際の現実化の過程についてです。

意識の中に浮かんだアイディアのイメージがどれほど明確か、そしてそこに人間としてのあなたがどれほど関わってくるかによって、創造力のはたらきは変わってきます。創造力は、人間であるあなたの思考力に対し、そのアイディアについてよく考えるように、もしくは、よく想像（創造）するようにと促してくるでしょう。なぜならわたしは、境界を超えて現れる自然の力、観念を具現化させる生命力を、あなたの意識の中でイメージされた「かたち」の中に注ぐ事によって、物事を現実化していくからです。創造力は、その現実化のかたちを意識の中で創造するようにと、あなたに促すのです。ある言葉を声に出して話した時、あるいは声に出さずとも心の中で話した時、それが意識的なものであれ無意識的なものであれ、その言葉の実体はすぐにそれ自体の物質化を始め、あなたの意識と心身の活動と、そしてそこに繋がりのある全ての人の心身を導き、コントロールしていくのです。思い出してください、わたしが全存在を司っていて、どの存在も分離しておらず、お互いにひとつであることを。全てが、境界を超えた存在であることを。こうして、あらゆる条件・物事・出来事が引き寄せられ、導かれ、形作られる事になり、遅かれ早かれその観念は確実に、具体的なかたちで顕現するのです。

これまで世界に現れてきた全ての条件・物事・出来事は、元々観念から始まっているのです。願うこと、思考し想像すること、そしてそれを言葉にして話す事で、観念が目に見える現実として姿を現すのです。

この事についてよく考え、あなた自身で証明してみてください。

どういった事でもいいので、何か思いついたアイディアがあれば、それを使ってこの現実化のプロセスを実行してみてください。もしくは、あなたがこれまでに成し遂げた物事について…あなたが創造した絵画でも、発明品でも、今ある生活の状態でも、それらが元々自分の観念から始まっているという事を、遡って確認してみてください。

これこそが真の思考、実在的思考であり、ゆえに全てを産み出す創造行為であるのです。よく聞いてください。あなたはまさに今、この思考力によって、地球上の全ての領域を治めるべき存在であるのです。そしてこれまでも、この力を有していたのです。あなたはこの事を知るだけでいいのです。「思考・想像し、その事を言葉にして話す」。自分の力に気付き、そしてわたしが、神が、全知全能にして遍在する「あなた」が、その結果をもたらすという事を知りながら。あなたの意思と思考が向けられる物事全ての、目には見えない細胞の意識が、あなたの思考した通りのイメージ、計画に従って、直ぐに動き出すという事を知りながら…。そして覚えていてください、このあなたの意思を受ける細胞の意識というのも、またわたしの意識だという事を。

全ては言葉によって創られていて、もし言葉が存在しなかったなら、今あるものは全て存在し得ません。

あなたの神我的意識は、全ての生物・無生物の意識とひとつであるという事。そして全ての意思はあなたの意思とひとつであり、それはわたしの意思でもあるという事、全ての願望はわたしの願望でもあるという事を理解しさえすれば、あなたは自分の中にわたしの存在を認め、感じ始めるでしょう。永遠にあなたを通して表現される、境界を超えたわたしのアイデアの力と栄光を、認識することになるのです。

ただ、まず始めに、あなたは思考の仕方をきちんと学ばなければなりません。わたしが導く思考と、それ以外の思考とを見分ける事です。思考の根元・由来を突き止め、望ましくない思考については、あなた自身の意思によって意識中から払い退ける事。そして最終的には、自身の願望をコントロールし活用できるようになり、あなたが願望の奴隷になるのではなく、願望の方がいつでもあなたに奉仕するようになるのです。

あなたの中に全ての可能性が秘められています。わたしがあなたの中に居るからです。わたしのアイデアは表現されるべきものであり、そしてそれは、あなたを通して表現されねばなりません。アイデアは、それ自身を完璧に表現していくでしょう…あなたはそれをただ許すだけです。人間的考え方を沈め、個人的関心事や信念、意見からひとまず離れ、ただそれを流れるままにしましょう。あなたがすべき事はただ、内なるわたしに向かい合い、あなたの思考と願望を、内なるわたしに任せることです。わたしの表現をあるがままに許してみてください。人間としてのあなたは、わたしがあなたに願う事を受け入れ、それを実行に移すのです。あなたの願望はこのようにして実現し、あなたの生活は楽しく調和に満ちたものとなり、そして世界は天の御国そのものとなり…あなたは、わたしとひとつになるのです。

第七章 言葉

さて、これからこの「鍵」を使って、ここまで話してきた仕組みと現実化の過程が、世界の成り立ちとどのように関係しているかをあなたに見せていきましょう。あなた自身や兄弟姉妹も含め、地球とそこに存在する全てのものは、わたしのアイデアが外界へ顕現されたものであるという事、生命というかたちで表現されたアイデアであるという事を。

このわたし、創造主は、初めに存在した思考者であり、事実、思考する唯一の者なのです。

まずそれを知ってください。

前にもいったように、人という存在は思考していません。彼という生命体を通して、わたしが思考しているのです。

人は自分で思考していると思っていますが、彼自身の中のわたしに彼が目覚めるまでは、わたしがあつた物事に彼の関心を惹きつけたり、心を鼓舞したりし、彼はただその考えを受け取っているだけなのです。そして、それらの真の意味や目的を取り間違えたり、個人的な狭い視野からの解釈を与えてしまい、身勝手な願望を抱いてしまう事で、問題や悩みを抱えたりしてしまいます。

一見、失敗のように見えるこれらの思い違いや障害は、彼自身が乗り越えるべき壁なのです。それらを乗り越えていく事によって、彼の心身は強く清いものとなり、彼の魂に永遠に生きるアイデアを、彼自身が意識的に、完璧なかたちで表現できるようになるのです。

わたしのアイデアの完成形は人間という生命体を通してのみ顕現できるのであり、そして各人の神我(アイ・アム)こそが、それを整えているのです。彼はその身体、心、知性を伴った彼自身の個性を持っていて、わたしはそれを通してアイデアを完璧に表現することができるのです。

彼の脳を通してわたしは考え、言葉を話し、アイデアを外の世界へと顕在化していきます。

わたしは各人の脳内に、アイデアを与えてあります。それぞれの存在にとってのアイデアです。その人自身が許すことで、彼のアイデアは育ち、熟し、早くに完成されるでしょう…彼の知性と思考、心と願望とを、真我であるわたしに任せ、わたしがはたらく事を許しさえすれば。

今、あなたの思考の中に、あるアイデアを与えましょう。わたしがこれを導き、発展させ、あなたを通して表現する事をあなた自身が許すのなら、このアイデアは育ち、熟し、燦然たる叡智となってあなたの中に輝くでしょう。この叡智はあなたを待ち望んでいます。

わたしのもう一つの啓示書、「聖書」と呼ばれる書の中で、あなたは「言葉」について、ほんのわずかしが教えられていません。最も博学な聖書学者であっても、わたしが「言葉」について真に意味した事を分かっていません。

あなたはこのように伝えられました…

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた」。

「この言葉は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった」。

ここであなたは、わたしの言葉が初めにどのようなものであったか、言葉がわたしと共にあったとはどういう事か、そしてわたしがどのように在ったかを、知る事になります。どのようにして、わたしと言葉が全てを創造していったのか。わたしと言葉が無かったなら、今ある全てのものは存在し得なかったということ。

まず、人間的理解で見ると、言葉というものは何らかのアイデア・観念の象徴にすぎません。つまり、言葉はあるアイデア・観念を指しており、その意味を持ち、それを象徴しているものだ。

理解できるでしょうか、実に「あなた」は言葉であり、アイデアの象徴そのものなのです。

「ダイヤモンド」、「紫」、「馬」なども、同じく言葉そのものなのです。言葉が象徴しているものの背後にあるアイデアを認識する事ができれば、顕在化している「人」、「ダイヤモンド」、「馬」、「紫」といった存在の魂、実在を知る事ができます。

このように見ると、言葉というものはアイデアそのものであり、まだ顕在化していない内在の概念、表現されるのを待っている観念、思考の対象となるのを、言葉にして話されるのを待ち続けている観念であるとも言えます。

初めにあった言葉、わたしと共にあった言葉は、観念であっただけではなく、新しい状態・条件の中で、わたし自身を表現したわたし自身のアイデア、あなたが「地上での生活」と呼ぶ状態における、わたし自身の表現でした。

このアイデアはわたし自身、わたしの自己そのものでした。わたしの存在の一部であり、まだ顕在化していない、わたしの中に眠っているアイデアであったのです。わたしの存在そのものの本質、実体であり、それそのものがアイデアであり、唯一存在する原初のアイデアなのです。

全てのものがわたしによって、つまりはわたしのアイデアが思考され、想像され、言葉にして話されるという生命活動によって創造されています。地上において表現されている存在は全て、わたしのアイデアが根源的な存在の原因、本源となっているのです。

従って、このアイデアは今現在も顕在化の過程にあり、言い換えれば、今も外界に表現されるべく思考され、創造され続けているのです。これを進化と呼ぶ人もいるでしょう。それは花が、内在するアイデアを表現したいという衝動に従い、茎から蕾を押し出し開花する様に似ています。

アイデアの表現体たる全ての存在をわたしが育み、進化させていきます。そして遂に、その完全性の光の中、全てがひとつとなりながら、それぞれの魂から神のアイデアが、完璧なかたちで外界へと現れるのです。

今この時、この表現体たる存在たちは、わたしのアイデアを表現するのに多くの異なる言語を必要とする段階にあります。単純な言語、複雑な言語、そしてそれらを構成する無限の言葉があります。

しかしながら、わたしがこのアイデアを完全に思考し終えた時、全ての表現体を完成させた時、それは全ての言葉においてその輝きを表現する事になります。実に、それぞれの言葉がわたしのアイデアの完璧な一側面であり、そして全ての言葉が共に神の光を表現するひと

つの言葉となるよう選ばれ、整えられていくのです。

それから全ての言語は融解し、お互いに混ざり合い、ひとつの言語を形成していき、そして全ての言葉がひとつの言葉になります。媒体としての言葉が全て具現化され、それらはわたしのアイデアの完全なる表現体として、ひとつの身体を、ひとつの言葉となって表現するのです…わたし自身、神自身を。

今や、この完成された言葉によって表現されるわたし自身は、自身の表現体たる媒体を通して、輝きを現し始めます。つまりそれぞれの人の個性を通して、その身体を通して、そしてその思考、知性を通して現れていきます：言葉は人となった。そう、言葉は人となるのです。

つまり言葉は全て、更新・再生し続けるこのアイデアの力により、人を通して進化していくのです。言葉は人を変化させ、霊化するのです。そして人は明鏡止水のように純粋なものとなり、その心は自然そのもので、個を超えたわたしを表現し得る存在となります。かくしてわたし自身が全き光を放ち、完全なかたちで自身を顕現させる事ができるのです。全ての言葉と全ての人が、この言葉、初めに存在した言葉の下に再びひとつとなり、全ての創造物が栄光の光を、神のキリストを表現する事となるのです。

これこそがわたしの創造の、すべての被造物の計画であり、目的なのです。

わたしの創造行為、つまり、わたしのアイデアをわたし自身の思考・想像行為によって地上に現わしていくこの過程についてを、これから話していきましょう。

第八章 アイデア

地球と、地球に存在する全てのものが、わたしのアイデアが顕在化したものであるとあなたに話しました。そして、それらが今も完全なる表現に向かい、思考・創造される過程にあるということ。

あなたや、あなたの兄弟姉妹をも含む全被造物への責任はわたしのアイデアにあり、またこのアイデアが全ての存在の本源であり、また存在理由であると。全ての存在が、わたしという唯一無二の思考者の思考力により創造されたということ。

このアイデアがどのようにしてそれを行ってきたのか。わたしの思考・創造行為がどのようにして地球の様々な段階を、そして現在の状態を創り出してきたのか、初めにまで遡って話しましょう。

宇宙が生まれる時、未だ闇の静けさの中にありながらも、言葉の意識が覚醒しつつあった時、思考者であるわたしの中に、このアイデアが訪れました。

新しい領域、「地球」と呼ばれる領域で現わされるべきアイデアを、全てを観るわたしの心

の鏡の中に、はっきりと描いたのです。この鏡の中に、わたしは真の地球が宇宙の中に輝いているのを見ました…わたしの神的本質が放つ全ての要素・属性・力が、光の天使、わたしの意思を伝える生けるメッセンジャー、つまりわたしの言葉を受けた人間たちを通して、完全に表現される星。永遠の中に在る、天の御国にも劣らない全美の星を。

わたし自身が「自然界」として外へと顕現されていくのを見ました。全てを育み進化を促す力が、全被造物に働きかけました。全ての被造物の背後に、その生命と強さを与える力である愛、即ち、神的創造力があるのを見ました。わたしのアイデアが生まれた根本的原因、根本的理由であるこの愛を、完全に表現したいというわたしの願いを見ました。全てを知り、全てを見通すわたしの心の鏡に、これら全てを見たのです。この鏡は、全てのものの魂、即ち実在を映し出します。それゆえ、わたしが見たものは真の地球であり、その始まり、地球概念の受胎だったのです。

さて、わたしの意識は、全ての空間と生命に内在する本質、霊的実体なのです。全てを把握し、全てを内包するこの意識の実質部分は、必要な情報と生命力を与える中心として、全ての存在の中にあり、そしてそこに限界や境界はありません。わたしが生き、はたらし、そして全てが存在しているのは、わたしの意識の領域の中だけです。わたしの意識は、全てを内包すると同時に全てを満たすものであり、顕在化した全てのものとそのバイブレーションは、わたしの存在の部分的現れであるのです。

「存在」とは、「表現されたもの」、「外側へ現れたもの」であるのです。あなたも、自身としての表現無しには、自分の存在をも感知できません。それゆえに、わたし、つまり存在する全てのものは、永続的に自身を表現し続けているのです。

一体、何を表現しているのか。

本当にこの「わたし」が「存在する全てのもの」であるなら、まさに「わたし」を表現する以外ないのではないか。

あなたにはまだわたしが見えないし、わたしという存在を理解できていないでしょう。しかし、わたしがアイデアによってあなたを感化する事によって、あなたはわたしを知ることができるのです。

わたし(アイ・アム)が、存在する全てのものであるなら、わたしから直接もたらされているこのアイデア自体、わたし自身が表現されたものであるはずです。

どんな概念でも、わたしの意識の領域の中で生まれれば、すぐに実存・現実となります。この領域では時間というものはなく、全てが永続性の下にあるからです。しかし今のあなたには、まずある概念が浮かぶと、それを表現したいという願望・欲求を抱くことから始まります。この願望・欲求が思考を促し、思考は行動に繋がり、行動が結果を生み出します。概念が現実世界に顕現した、ということです。

実際、わたしに願望・欲求はありません。なぜならわたしは、存在する全てのものであり、全てはわたしに属しているからです。ただわたしがある事を考え、言葉にして話すだけで、それが結果として現れるのです。

あなたが感じる願望・欲求も、わたしから来るものなのです。あなたを通してしか表現され得ないものを、わたしがあなたの意識の中に与えているからです。そうです、あなたが何かを願う時、欲している時、わたしがあなたの心をノックしていて、あなたが抱いているその願望によって形作られる特定の事柄を、あなたを通して顕現していきたいと、あなたに伝えているという事です。

それぞれの人の中に生まれる願望というものは、アイデアを顕在世界に実際に現わしたいと

いうわたし自身の意思による、必然的はたらきに他なりません。

従って、あなたの真の願望、心からの願いは全てわたしから来たもので、必要な時に、何らかのかたちで満たされねばなりません。

しかしながら、在りて在るものであるわたしには、「願望」がありません。この新しい領域にわたし自身を表現するという考えが生まれてからは、わたしはただ思考するだけ、つまり、アイデアと意思の発現に焦点を合わせ集中する、または先に伝えたように、声に出してその創造的言葉を話すだけなのです。わたしの意思が集中された事によりバイブレーションとして生じた万象の力は、わたしの意識の中にある「倉庫」から必要なものを引き寄せ始めます。わたしのアイデアを核とし、周りにあらゆる要素を組み合わせ、象り、惑星というものの「形態」を成り立たせ、わたしの生命力…つまり、わたしの意識で満たすのです。そしてそこに、わたしの存在が持つあらゆる潜在的可能性を授けるのです。

この思考行為は、生命を受けた「地球惑星という形態」を象ったのみで、その顕在化の過程については漠然としたものでした。

そしてこの思考により象られた形態から、胎動とでも呼ぶべきアイデアの力が、わたしの意思の力を受けながら更に形成を進め、徐々に様々な生命体が物質化していきました。そしてついには、地球、つまりあらゆる生命体の表現の場が目に見える世界となり、その中でわたしのアイデアが物質として輝きだしたのです。今やそれは、わたしをその存在の中に保持すると同時に、わたしを表現することができるのです。

このようにして出来たのが、わたしの潜在的可能性の全てが棲む場所、わたしの思考力によって造られた物質的身体であり、そしてそれは、内在するアイデアの力から来る情報によって成り立ったのです。

次に、わたしのアイデアの多様性、様々な可能性と力を表現するための方法・媒体を発展させる段階が訪れました。

それらが外界に現れたかたちとして、鉱物界、植物界、動物界の存在があります。それらは段階的に顕在化していき、徐々により高度で複雑な意識状態を達成し、わたしの存在の永続性と多様性を益々明らかに表現できるようになっていったのです。

この段階でわたしは、自分の創造物を見渡し、わたしの別の啓示書にあるように、それを「良しとした」のです。

ここではまだ最後の、究極の表現媒体は存在していません。

この時点で、それぞれの存在が完璧なかたちで自らを表現していましたが、それらは全てわたしの存在に対しては無意識のままでした。表現媒体として、例えるならば熱、光、力を伝導する電線のような役割であったのです。

全てが十分に成熟し、わたしの神的特性を意識的に表現できる媒体が誕生する時が来ました。わたしとの関係に意識的であるだけでなく、わたしのアイデアを表現する能力と力についても意識的である存在です。

正にこの時、あなたや、あなたの兄弟姉妹が、人間という表現存在として生まれたのです。他の表現体と同じく、わたしの思考力を集中し、わたしの本質の限りない多様性を表現体に見出し、人間は創造されました。それぞれの人が、その創造主、表現を与えるわたしの存在に意識的でいながら、自身が表現すべき特質を顕現していくのを見ました。

わたしは、完璧な表現体であるあなたを見たのです、そして今もあなたを見ているのです…真のあなた、わたしの本質であるあなた。この完全である存在を。

実存世界において、あなたは光の天使、わたしの思考から生まれ出た一筋の光なのです。

神の本質が、地球という条件の中で魂を得た存在であり、わたしのアイデアを究極のかたちで、完璧に表現するという目的の他、何の目的も持っていないのです。あなたは、わたしという存在とその目的以外のものを、必要としていないのです。

永遠性の中に、時間と空間、個体というものは存在しません。意識という子宮の中から物質世界が思考により生みだされ、そこに時間・空間・個体という幻象が起こっている…つまり、原初の意識、創造主から離れたという意識を持ったという事です。

あなたが自分を、わたしから分離した存在であると考えようになった始まりです。完全な分離の意識が発達するのは、ここからかなり後の事です。

このように、わたしの創造的思考から送られた衝動に従い、あなたは初めて、地上での表現体として降り立ちました。わたしの本質の一部であるあなたは、わたしのアイデアの部分を表現するため、それを身にまとったのです。あなたが、わたしのアイデアのその特定の部分に、命を与える力となったのです。

言い換えると、わたしのアイデアが、その本質の特定の部分を表現し、それがあなたという独自の表現体の魂となったのです。しかしこの部分的アイデア、もしくは魂は、あなたそのものではありません。思い出してください。あなたは、本当はわたしの一部、わたし自身であり、その本質の特定の部分を表現している、わたし自身であるのです。

わたしのアイデアを身にまとったあなたは、すぐに、独自の表現に必要な思考要素を自身に引き寄せました。そしてそれを、わたしのかたちとして、わたしに似せて形作っていったのです。そうしてそこに、あなたが、つまり聖なる本質に属する存在が宿ったため、生ける神に満ちた神殿が誕生したのです。

神のかたちとして、神に似せて、神の思考要素によって造られ、アイデアを包み込んでいるこの神殿はつまり、あなたの真の身体なのです。それゆえそれは、破壊する事のできない、不滅の、完璧なものなのです。それはわたしの、完璧な思考創造（想像）であり、物質体として外に向け表現する事を待ち望む、この生ける神を内包しています。

さて、ここまで話した事を思い出してみましょう。

まず、わたし（アイ・アム）は、わたしの本質に属する「あなた」という存在を表現している。

そして、わたしが生んだあなたのアイデア、わたしの本質の一部であるあなた。つまり、あなたの魂が、地球という条件の中で表現されている。

そしてわたしが思考により創造（想像）したあなたは、あなたの魂の神殿を形成している。つまり、あなたの魂が宿る身体を形成している。

これら三つの事実が、あなたの聖なる部分、個人という境界を超えた部分、不死不滅である三位一体を構成しているのです。今はまだ表に現れていなくても、あなたはわたしのかたちとして、わたしに似せて、完璧に創造された存在です。それが今はまだ完全には目覚めていないので、あなたの個の人格とその繋がりが失われている状態なのです。

第九章 地上の楽園

「あなた」と「わたし」はひとつである - 「神」と「人間」の間に分離など存在しない

と教え、少しずつ読者をその悟りへと導きます。

ここまで話した事がきちんと把握できていなくても、「自分には無理だ」と諦めないでください。一語一句に隠された意味があり、あなたが理解できるようはたらいしています。あなたの今の学び以上の祝福が待っているのです。

このメッセージは、あなたを真我に目覚めさせるためのものです。あなたがもう一度、わたしの存在、つまりあなたの聖なる自己に気付けるよう意図したもののなのです。わたしの存在に充分意識的になる事で、あなたがもう二度と、自分自身であると信じ込んでいた「別の自分」、決して満足する事のない感覚的快楽や物質的気晴らし、感情的な遊び事で肥大させてしまった自分に、もう裏切られないように。

目覚めの前に、この「別の自分」をきちんと知る必要があります。あなたが自分であると思込み、わたしと分離し存在していると考えた事により生じた自己。そしてあなたは、その自己に力を与え続けたため、それはあなたをけしかけ、騙してしまうまでに肥大したのです。そう、この自作の自己というものは、全く自己中心的なプライドと野望、思込みの力に満ち、自分のためだけの生活、所有、そして自分こそが聡く義であると認められたいのです。しかしそれは単に、あなたの人間としての個性の部分であり、分離した自己として消滅してしまう運命にあるもので、葉っぱや雪、雲などと同じく、実在的・永続的なものではないのです。

あなたはその小さな自分、小我に向き合い、その浅はかな利己主義、あまりに人間的な虚栄心の全てを、目の当たりにする事となります。そしてあなたは知るでしょう。あなたがわたしのもとに帰り、信仰と信頼をもって心からわたしに頼るなら…無限のわたし、あなたの中にずっといた、境界を超えたインパーソナルな部分こそが、あなたに「人間的幻想」の数々を指摘してきたという事を。これら幻想の数々が、わたしを、つまりあなたの「神聖な自己」とあなたとを、意識の中で長い間分離させていたという事を。

このメッセージが、本当にわたしからのものであると認識できた時、そしてそれを真摯に受け止める事ができた時、この悟りは確実にやってきます。その覚悟ができるよう、わたしはあなたに息吹を与えました。あなたが時間の中で見ている全ての幻想を打ち消し、真の意味でわたしを知る事ができるよう、わたしはたります。

このような抽象的情報によりあなたのマインドは鍛えられますが、それにより何か悪い事が起こるという事はありません。それどころか、これはあなたに必要な事なのです。正にここに示されているように、わたしの意図する内容を、外側から概念として伝えられる事で把握できない限り、それがあなたの内側から伝えられた時、正しく認識、解釈できないからです。

あなたのマインド、思考力が正しく働くようにわたし(アイ・アム)が調整しているのであり、これは地上での知識を更に増すというものではありません。わたしがもたらす天の知識をあなたが受け取り、それをあなたの周りの人々に伝えられるようにするためなのです。そしてあなたに集うその人々も、わたしが導いていくのです。

わたし、つまりはあなたの真我、“天におられるあなたの父”への祈りによって、真の悟りは訪れます。これから話す事を、注意深く聞いてください。

ここまで、わたしのアイデアがどのように展開してきたのかを話してきました。わたしのイ

デアがあなたの真我(アイ・アム)に達し、魂が宿る不滅の身体、わたしの思考が創造した身体の像(かたち)が形成され、それが今、地上でわたしを表現していくのに適した、物質的かたちを取っているという事です。

精神体から物質体への変質は、全て思考と創造という方法・過程を通し行われ、聖書には文字通りにその事が記されているのです：「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」。もう少し説明しましょう。わたしのアイデア(あなたの魂)の中に生命を与えた力が、様々な生体物質(塵)、各原子、各細胞を引き込み、やがてそれらが、魂の身体を組み立てている像(かたち)をもとに実際の物質体となった事で、いわば「地上で着る服」が出来上がったのです。そして、その物質的身体が精神的、靈的感覚をも有したかたちで顕現しました。それからすぐに、あなたは命の息吹をその鼻腔を通し、内側から吹き入れられたのです。この時、ついにあなたは「人」として地上に現れました。わたしがわたし自身を意識的に表現していく、地上における表現体。人間存在であるあなたの「自己」の中に、わたしの全ての特性が存在しています。つまり神の力、神の潜在能力の全てが、あなたの真の自己の中に眠っています。

今や様々な表現体が、様々な生物となって地上に顕現しています。そしてわたし、つまり神そのものの表現体であるあなたは、必然的に地上の生物を治める立場となり、必要があればそれらの生物をあなたの能力をもって利用する事も許されたのです。

このようにして、あなたとあなたの兄弟姉妹が人間という表現体として生まれたのです。人間という存在はこのようにして生まれたのであり、この過程以外を通して生まれるという事は有り得ません。

人という存在として生まれた当初、まだあなたには境界、個というものがなく、自意識を持っても未だ内なるわたしの導きを求め、従っていました。あなたが地上で目を覚ました当初のこの状態が、「エデンの園」と呼ばれるものだったのです。

この「エデンの園」という観念は、意識の境界がない状態、「インパーソナルな意識」の状態を表現したものです。今は個の身体という表現に制限されているあなたの意識が、まだわたしと「ひとつ」であった時の表現なのです。

さて、人間として現れたあなたを何故、どのようにして“楽園から追放”する事になったのか。あまり詳しくは話しませんが、地上にある状態では、わたしの意思と関連して「願望」が作用するという事を覚えておいてください。願望が作用し、外の世界の物事にのみ関心を向けさせ、内在のわたしを忘れる事も可能だという事を。

あなたがわたしを忘れた事を、あなたは、わたしの側に理由があったと思い込んだのです。そこで初めて、人類にとって「眠り」というものも生まれました。所謂「一日」の終わりに眠りにつき、そして「起きる」という事を繰り返す。あなたは一日の始まりに「起きた」と思っていますが、実際にはまだ夢の中にいるという事です。初めて人類に眠りというものが生まれたその日から、今日というこの日まで、地上では実に多くの出来事や状態の変化があったように見えますが、それらの全てが夢なのです。あなた(人類)が、自分の中にこそわたし(神)がいるのだという事を完全に自覚した時こそ、この夢から覚める事になるのです。あなたが、自分を外の世界によってしか確認できない存在なのではなく、内なる存在にも自覚的になる事。つまりこの二面性に気づく事です：活動的、思考的、能動的で、男性的と見なされる部分(man)。そしてもう一方の受身的、感受的、受容的な部分、つまり女性的な部分(womb-man、子宮の中の存在、即ち woman)。

そして、地上における様々な感覚からの影響が、あなたの意識を純粋な天の喜びから、夢の中の状態へと引き付けているという事。そしてそれは、あなたの人間的マインドを発達させるためであり、始めは自分自身のためだけに働く感覚的特質が、やがてあなたの地上における使命、本来の目的を中心として動き出すのです。

利己心を象徴する「蛇」(わたしがあなたの意識の中に与えた象徴です)を通して得られたこの智慧は、まずあなたの受身的、感受的、受容的な部分に生まれます。つまり、地上におけるわたしの意思伝達の手段である願望です。願望こそが、地上におけるわたしの表現の完成に向けての原動力を生んでいます。

この、生まれるべくして生まれた願望というものが人類全体に魔法をかけた時、「神とひとつである」という意識は、深い眠りに入ったのです。夢の中でわたしの意思を自由に、そして無意識のままに扱う事で、「善悪の木の実」を十分に味わう事もできたのです。その実を味わったからこそ、それが何であったのかを見極める事もできました。その経験から得た智慧を生かしていく強さも身につける事ができました。そしてその全てが、わたしのアイデアの中で起こっている完璧な顕れなのです。

夢の中のこの架空の地球で、木の実を食べ「善悪」を認識するようになり、様々なものに没頭し執着してきたという事。今のあなたなら、理解できるのではないのでしょうか。そして今、新しい領域を見始めたあなたは、その向こうにある実在世界を知りたくてたまらないはずです。

どのようにしてあなたは、自分が裸であると気付く事になったのか。そしてなぜそれに気付く事になったのか…。それからあなたの思考的部分、感受的部分の両方が、神であるわたしを恐れるようになり、わたしから隠れるようになったのです。これこそが、この分離感の起源です。

今のあなたなら理解できるかもしれません。なぜ人類は、神とひとつであるインパーソナルな意識、即ち天国から離れ、真我を見失い、夢の中の「虚の地球」で彷徨う事になったのか。

この過程により個の意識が生まれ、それぞれの身体の中で発展する事となり、そしてそれぞれが神の完全性を表現できるものとなりました。個の人間としての意識の誕生です。あなたの人間としての意識が生まれたと同時に、わたしはあなたに憧れの気持ちや希望、それに伴う願望とを与え、個の意識を育て、強くしていくよう促してきました。これらの全てが、人類という局面にはたらくわたしの意思であり、地上において「神」を完全に顕現していくための発展段階であるのです。

このように、わたしは初めに言葉を話し、あなたを“楽園から追放”し、あなたの意識に服を着せた、つまりあなたに他の動物と同じように、肉体を与えたのです。

あなたが、地球段階の中心部分 - つまり、あなたの夢の中の地球ではなく、真の地球、わたしのアイデアが創造した地球に移行できるよう、つまりわたしのアイデアが実際の生命体として生まれるためには、まずわたしの一部であるあなたが、夢の中で自己を表現できる特定の生命体を持つ必要がありました。

わたしがあなたに与えた肉体は、あなたというアイデアを地上で表現できるように創造したものです。その特定の生命体を通してあなた自身を表現できるよう、その手段と力を与えたのです。そしてその全ては、言葉によって創造されました。

意識の境界がないインパーソナルな状態において、言葉は必要ありません。そこではアイデアそのものがただ存在し、表現されているだけです。神の要素であるアイデアは、ただそこ

に在るのです。

一方、この夢の状態では、まず全ての表現体は外界に存在し、そこで視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚で感知されるものとして生まれました。そして、それらの表現体を外面、内面の両方できちんと感知するための生命体、つまり人間の身体が必要であったのです。

わたしの一部でありながら、アイデアの中におけるわたし自身、つまり神自身であるあなたは、“エデンの園から追放”された後、“産み、増え、地に満ちて”いきますが、そこにあった願望、欲求の根源も、神自身とその意味を地上に表現していくという、わたしの意思だったのです。

あなた、そして人類がその特質を表現するのにより良い環境を探し求めていった結果、人間は地上のあらゆる場所に散らばっていきました。様々な動物と接し、それらが潜在的に持っていた特徴や能力、つまりわたしがそれらの中に与えた特有のアイデアを目覚めさせていきました。

地球上の様々な言語が形成されていったのも、この過程においてです。それぞれの言語に無数の言葉・表現があり、それらも全て、地球上で神の様々な側面を表現したいという内的欲求から生まれたのです。

このように、人間の意識が言葉を使って更なる表現を追求していくにつれ、より大きな概念・観念については、到達できないものも見られるようになりました。

地上の全ての意識に、偉大なる意識の目覚めが訪れる時があります。全ての言葉が一なるアイデアの象徴であるという事、あらゆる表現存在の全ての中にアイデアがあり、その全てが一なるアイデア、つまり神のアイデアの構成要素であるという事に気付く時です。神意こそが、あらゆるインスピレーションの源であるという事を知らずに行う表現行為は、全て儚いものであると気付く事になるでしょう。そして、あなたが神から分離した個として自身を認識したまま、その生活で如何なるアイデアを表現しようとしても、それは実を結ばず、失望や屈辱を感じる結果を生む事となります。人間としてのあなた個人が行動していながら、わたし、つまり神を完全に自己の中心に置いている状態、即ち、あらゆる試みが実を結ぶ状態がやってくるのです。

第十章 善悪の知識の木

あなたは、地上での役割を果たすために「エデンの園」を後にしましたが、そこには「善悪の知識の木」がありました。まだあなたが神と一つの意識状態にあり、エデンの園に住んでいる時、あなたはこの木の実を食べた事はありませんでした。地上における“神の作用因子”である願望、欲望というものにより、あなたはこの実を食べる事になりました。そしてこの実を味わった途端、あなたは天国の状態から“堕ちた”のです。それは即ち、雛が卵の殻を破る事であり、バラが蕾から開花する事にも例えられます。あなたはこれま

でとは全く違った、奇妙な状態を体験している事に気付きます。この時点であなたはまだ、地のものを治め自らの必要を満たすという事ができず、その土を耕し、額に汗してパンを食べなければなりませんでした。

使命を果たす事となったあなたは、地上における神のアイデアを完璧に表現できる強靱な精神と肉体を発達させるため、地球での生活状態に完全に入り込む必要がありました。そしてそれこそが、あなたがこの夢の意識状態に入る事となった真の理由であるのです。

神の意識とひとつであったインパーソナルな状態、即ち、エデンの園に住んでいた時の意識状態から離れた後、あなたはこの夢の世界が持つ魅力の虜になりました。願望や欲望に完全に身を委ねたため、もはやこの実存世界 – つまり真の現実、物事全ての「魂」を見る事ができなくなったのです。あなたは、地上における覆いである肉体をまとい、脳を有しています。それが魂意識にとっての膜、霧のようなものになっており、あなたの意識とそこから見える景色を曇らせたのです。真実の光はそこに浸透せず、全ては偽の色を帯び、あなたの認識は歪んでしまったのです。

さて、人間の知性というものは願望、欲望のためだけに働くものであり、多くの人々が思っているように、魂の領域で機能しているものではありません。

実は、あなたの認識を曇らせてきたこの霧とは、あなたの人間的知性なのです。あなたの意識を覚醒に導いていく過程において、あなたの中にあるわたしのアイデアが外の世界に向けて顕現していきたいと、より強い衝動を伴うようになりましたが、その一方で、**知性は欲望によりコントロールされているため、わたしが内外から与える全てのイメージ・概念・感情的刺激などを、誤って解釈したのです。**

こういった作用も全て、実はわたしの意図によるものでした。全ては、意識的にあなたを真の地球へと導くためのものなのです。

欲望のみに支配された虚の認識の中、あなたは多くのつまずき、問題、苦しみを経験し、そして徐々に自分自身に対する信頼、つまり、わたしとひとつであるインパーソナルな自己に対する信頼を無くしていきました。そして実に、あなたはわたしを忘れてしまい、誰をも頼ることができなくなったのです。しかしながら、こうして自身の神性を忘れ去り、全ての意識を地上の状態に置く事でしか、あなたの人間的意識と意志、人間としての機能が発展する事はなかったのです。そして、神のアイデアを完璧に表現できる強靱な肉体とその能力も、生まれることはありませんでした。神のアイデアとその表現は、地上で必ず発現すべきものなのです。

あなたのつまずきや問題、苦しみ、そしてそれらから自由になりたいという願いから、「悪」というものの概念があなたの意識の中に生まれました。そして何も問題が生じていない時にも、その「悪」という概念が「善」という概念に対し、影響を与え始めたのです。

それからあなたは、全ての物事・状況は「善悪」に起因すると考え始めました。それは即ち、物事・状況があなたの願望、欲望（つまり神の作用因子）を満たしたかどうかにより、全てを判断するという事です。

こうしてあなたは、心地よいものは善、不愉快なものは悪であると判断していく経験・状

態に入ってしまったのです。そしてその経験も、あなたの魂の特定の能力・機能を賦活(アクティベート)していくという、神の願望から生み出されたものであり、あなたの中にいる「わたし」という真実を、あなたの意識に強く認識させる過程の出来事であったのです。明らかに「悪」と呼ばれるものは、禁断の実を食べた事から生じた「負の側面」であり、その魅惑的な外観と初めの一口の甘さにより、いつもあなたを誘惑してきたのです。あなたがその味に飽きるまで、もしくはその害ある効果が現れ呪いとなり、あなたを幻滅させるまで – つまりはあなたが目覚めるまで、その効果は続くのです。幻滅を味わう経験は、あなたがわたしへと、つまりあなたの真我へと向き合う力となります。このようにして目覚めた、新しい意識・あなたの真我は、禁断の実が有するその本質を引き出し、あなたの魂の一部としてそれを統合することになるのです。

そして「善」と呼ばれるものは、禁断の実を食べた事から生じた「正の側面」であり、内側に生じる呼びかけに真っ直ぐに従う事で感じられる、あなたの本来の幸福感そのものなのです。それは同時に、わたしの愛の表現である靈感、導き、そしてそれによる恩恵を、あなたが受け取る事を可能にしている力なのです。

内なる呼びかけと願望に導かれながら、様々な経験をしてきたあなた。これらの経験をしてきたのは人間としての個である「あなた」です。あなたの真我は、個としてのあなたが神のアイデアを表現できる「完璧な楽器」となるよう、その個性を訓練し、進化へと導いてきたのです。これらの全てが、あなたの真我のその完全性を、この個人的肉体を通して顕在化するための努めであったのです。

つまり、全てはあなたの真我が行ってきた事なのです。あなたの真我が、人間であるあなたに禁断の実を食べるように誘い出しただけでなく、悪と呼ばれる全てのものを見つめ、そしてそれを知るまで、その実を食べ続けながら生きていく事を促したのです。その実に善と呼ばれるものの幼芽を見つけ出すまで、あなたはその実を食べ続け、その実によって生きてきたのです。あなたはその見出された幼芽を摘み、確かめ、裏表の両方から観察してみたのです。それから、善悪というものは異なる視点から物事を見た場合の比較的な条件に過ぎず、真実においては存在しないという事。また、それらは内在の真実を映し出している一側面に過ぎないという事を、あなたは理解したのです。内在の真実、それはつまり、あなたが探し求めてきたもの、それそのものになりたいと願ってきたもの、表現したいと望んできたものなのです。

時とともに、あなたは自身の知性により生み出したその幻惑の霧をくぐり抜け、人間的意識でできたヴェールを一枚ずつ取り除いてきました。知性そのものの力を律し、霊化し、それによってより純化された知性を手に入れました。そして今、あなたは悟りに近づき、これまでにないほど薄くなったヴェールを通して、わたしの気配を感じるところまで – つまり真の現実、全ての存在に宿る実相を感じるところまで来ているのです。

全知の存在であるあなた、真我であるあなた – つまりあなたの神我(アイ・アム)は、ここまで話した全ての事を、常に意識的に行ってきました。それは、地上での環境や物事についてを学ぶためだけではなく(知性の部分はそればかりを強調してきましたが)、あなたが、この薄暗い視界の中にありながらも、自身で蒔いてきた種を刈り取り、天の御国と同様に地上においても、わたしのアイデアを顕在化していくためであったのです。

覚えておいてください。あなたはわたしであり、インパーソナルな存在であるのです。あなたは、全ての事を行っている存在、あらゆる外観にかたちを変えて存在していくわたし

でありながら、永遠に不変の、内なる存在であるという事を。

季節は常に変化しています - 種蒔きに忙しい春、全てが熟する夏、実りある秋。そして全てが平和な時を迎える、ひんやりと静かな冬。何年にもわたって、何世紀にもわたって、そしていくつもの転生を経て…その全てが、わたしのアイデアの呼吸とも言えるものであり、その氣息を通して地球に、あなたに、そして全てのものに、靈感を与えてきたのです。わたしが本来の姿を完全に地上に現していくまで、この呼吸は続くのです。

実に、わたしはその全てを、あなたを通して行っているのです。あなたはわたしの表現体で、そのあなたという存在を通してしか、わたしはわたし自身を表現できない。つまり、わたしはそのようにしか存在できないのです。あなたがいるから、わたしがいるのです。わたしがわたし自身を表現しているから、あなたは存在しているのです。

わたしはあなたの中にいます。まるで、小さな団栗の中に、樫の大樹が存在しているように。太陽の光が太陽そのものであるように、あなたはわたしという存在そのもののなので、わたしの姿の一形態であるのです。実に、わたしの神性を有するあなたは、その人間としての個性を通し、わたしの完全性を表現しようと絶え間なく努めているのです。

例えば、画家が表現したい絵のイメージを心の中で観る事ができても、筆や絵具のような不完全な手段によってはその完璧なイメージを描写できないのと同じように - 真我であるあなたは、わたしを自分の中に観じ、わたし達がひとつである事を知っていながらも、動物としての身体、束縛された心、利己的に働いてしまう知性等、その地上での人間的性質によって、わたしを完璧なかたちで表現する事を妨げられてしまっているのです。

それでも、あなたの身体、心、そして知性を創造したのは、わたしなのです。それらを通して、わたし自身を表現するためにです。その身体は、わたしの完全性をイメージして創造されたもののなのです。その心は、わたしの存在とそのはたらきを、あなたに知らせるため創造されました。そしてその知性は、ひらめきや靈感として心に与えられたわたしからのアイデアを読み取り、解釈するために創造されたのです。しかしあなたは、その身体、心、知性の人間的側面と、その外的活動とにあまりに気を取られ、わたしを - つまり唯一実在する存在、あなたの中のわたしを、忘れる程になりました。あなたが一度忘れ去ったこの神性こそ、あなたを通して表現されるべきもののなのです。

外の世界の事がそれ程難事とならず、あなたの中に存在するその完全性、その光の中、わたしという実相があなたに明らかにされる時が、もうすぐ訪れます。

そしてわたしの存在を知ったあなたは、これまでになく祝福を受けるでしょう。わたしの啓示は、あなたの命のパンとなります。あなたはその命を生き、顕現していくのです。

十一章 わたし(アイ・アム)という存在

さて、神のアイデアがどのように開花していくのか。わたしはここまで意図的に、その全体的な道筋について、そしてアイデアの最終的な完成について、必要以上に詳しく話すのを避けてきました。あなたがこの事を本当に知りたいと願うまで、そしてあなたが自分の内側から真実を受け取る十分な力を持つまで、わたしは待っているのです。もし、あなたの意識に真実を受け入れる準備がない段階で、わたしの表現、全ての被造物についての真の意

味を伝えたとしても、あなたはわたしの言葉を信じないか、その意味を内的に理解し生かす事はできないでしょう。

あなたの中の神我(アイ・アム)の悟りへとあなたを導いていく今、あなたの人間的意識が益々インパーソナルな状態になり、わたしの存在を表現する媒介へと発達していく今、この実相たる神のアイデアを、わたしがあなたに明らかにしていくのです。長きに渡って、あなたから神を、つまりわたしの存在を覆い隠してきたこの幻想の霧を晴らし、天の御国に属する全てを、あなたを通してこの地上に表現していく事ができます。あなたの人間性の中に、神の完成を見る事となるのです。

わたしはここに、神の実相のかすかな光を示しただけです。このかすかな光が時と共により明らになり、様々な啓示をあなたの内側から顕していく事でしょう。今あなたが見ている光は、この上なく素晴らしい真実の、ほんの一部なのです。

あなたの中に存在するわたしのアイデアが、ついにこの肉体という外套の中から全き光を放つ時、あなたは、人間的知識と心が認識する「神」という概念では到底測り知れない存在を知る事となります。崇敬の念があなたを満たし、あなたは神を、つまりわたしを賛美せずにはおれないでしょう。

これまで話した事があなたの意識に上り、真の意味で理解できるようになるには、人間意識を持つあなた、個人としての人間性を持つあなたが、わたしの啓示を受け入れられるようにしなければなりません。あなたの中にいるわたしを唯一の源である事を認め、分離に基づいた見解や解釈、つまりはあなたの「小我」をわたしに明け渡し、純粋な思考、意識、感情をもって、子どものように神を信頼しなければならないのです。

その時にこそ - つまり、わたしの意識があなたの存在を満たすのを、その小我意識が邪魔立てするのを止めた時にこそ、わたしの伝える実相の真の姿、その光を、遂にあなたに顕す事ができるのです。ここに示したメッセージは、その時に備える準備のようなものに過ぎません。あなたの意識の外側から、あなたを調えるものなのです。

実に、あなたの意識が、この光を僅かながらも知るべき時が来ました。内側から語りかけるわたしの声を認識できるよう、ここまでの啓示があなたを調えたのです。

今やあなたは、自分自身の内側に神我(アイ・アム)がいるという事実を理解している事でしょう。ここからは、この本という媒体を通し、これまであなたが直接受け取る事のできなかったこのアイデアの深奥を、更に強く、あなたの意識に刻印していくものとします。

従って、ここからあなたに伝えていく言葉の中に、何か心に響くものがあれば、それは、これまであなたが自分の内側から感じ取る事のできなかったわたしのアイデアであり、その証であるのです。

一方、あなたの心に響かない内容、自分のものではないと感じる内容については、あまり気にしない事です。その内容が今はあなたに相応しくないと、わたしが判断したという事です。

ここにわたしが伝える真実の数々は、わたしが息吹を与え、誘起した意識たちに向かい、響き渡っていくでしょう。わたしが伝える言葉の一つ一つに、わたしのアイデアの威力が眠っています。ここに伝える言葉に隠された真実を把握できる意識にとって、この真実は生きた現実、実相となり、そしてその意識は、わたしのアイデアの一部となります。わたしを、つまり神を表現するのに相応しく、またその能力を有する事となるのです。

全ての意識が究極的にはわたしの意識の一部であり、それぞれ人間というかたちを取りながら表現された「わたし自身」であるため、わたしがこの本を通してあなたに、そして

人々に語る時、わたしは人間として存在している「わたし自身」に対し語っているのです。わたしの無限の意識をもって思考しながら、わたしのアイデアを地上の表現体に対し、送り届けているのです。

そして間もなく、あなたもわたしの思考を通して思考し、あなたの中の神我(アイ・アム)が直接あなたの人間的意識に対し語る事を、認識できるようになるでしょう。そしてこの本や、その他わたしの啓示を現した様々な教え - 本であろうと、人の語りであろうと、そういったものに頼らずとも、わたしの伝えるところを理解できるようになるのです。なぜなら、神我(アイ・アム)であるわたしはあなたの中に在り、そしてわたしは、あなたそのものであるのですから。あなたとわたしはひとつであり、同時に全ての意識の中で全てを表現し、全てを知っているのですから、どうして、あなたがわたしの伝えるところを理解できないはずがあるのでしょうか？

あなたがこれから為すべき事はただ一つです。わたしがあなたの意識の中に在る様に、あなたがわたしの意識、つまり神の意識である全なる意識の領域へと進み、そこでわたしと共に在る事です。そうすれば、全てがわたしのものであるように、全てがあなたのものとなります。全てはわたしの生んだアイデアの、外界への表現であるからです。わたしが思考を使い創造を行った時に、それぞれの被造物へ与えたわたしの意識によって、全ては存在しているのですから。

全ては、意識の問題であるのです - あなたの意識的思考が大事なのです。あなたがわたしと離ればなれであると考えているから、あなたはわたしから分離しているのです。あなたの意識は、わたしの意識のある焦点、ある特定の核となったところなのです。あなたが自分だけの領域だと認識しているその意識は、わたしの意識なのです。わたしの意識がなければあなたは何かを「思う」という事もできないし、ましてや息をし、ここに存在するという事も不可能なのです。分かりますか？

では、あなたはわたしであると考え、信じてください。我々は離ればなれではないと、我々は決して分離して存在する事はできないと。なぜなら、わたしとあなたはひとつだから。わたしがあなたの中に在り、あなたはわたしの中に在る。そのように思ってみてください。心に決め、その状態をイメージしてください。あなたが確かにそれを意識できた時、あなたは実に、わたしと共に天の御国に居るのです。

あなたという存在は、あなたが信じるところのものなのです。あなた自身が人生の中で経験しているいかなる事も、あなたがそれを信じない限り、それに何らかの価値を与えない限り、それは実際にあるとは言えないのです。

だから、もうわたしと離ればなれであるとは考えないでください。全ての境界を超えた、このインパーソナルな領域に歩み入り、わたしと共に居てください。全ての力、智慧、愛がそこにあります - 神のアイデアの三つの本質である「力」、「智慧」、「愛」が、あなたを通して顕されるのを待ち望んでいるのです。

さて、わたしの思いについては十分に話しました。同じ事について何回も、違う言葉で話してきました。別の言葉という違った光を与える事で、あなたが神のインパーソナルな状態を理解できるよう、意図的に、同じ事を何度も話してきたのです。そして実に、このインパーソナルな状態は、あなたの実相であるのです。

ここまでも繰り返し真実について話してきましたし、これからも別の言葉で、同じ真実について話していくでしょう。あなたは時に飽き飽きするかもしれませんが、同じ内容につ

いて聞く事は意味が無いと感じる事もあるでしょう。それでも気を付けて読み進めていくと、真実について繰り返し話す度、わたしは必ずそこに何か言い足している事があり、それらの内容があなたの意識に対し、より強く長らえる影響を与える事となるのです。この目的が果たされれば、あなたはもうすぐ、魂をもって真実に目覚める事となるでしょう。

もしあなたがわたしからの印象を受け取る事なく、この繰り返し語られる真実が無駄事だと感じるのならば、あなたは知性の部分だけでこの文章を読んでいるのであり、わたしの伝える真の部分理解できていない事になります。

わたしの言う事を受け入れるあなたは、ここに話される言葉の一つ一つを愛し、何度も、何度もこの本を読む事になるでしょう。そしてわたしがあなたのためにずっと取っておいた、この真珠の様に輝く素晴らしい智慧の全てを、遂に受け取る事になるのです。

この本とわたしのメッセージが、あなたにとって単なる“インスピレーションの源”として止まる事になるのか。それとも、あなたがインパーソナルな状態へと歩み入る扉となり得るのか – この本により、あなたがわたしと、つまり天の父と暖かな親交を持つ事ができるようになり、わたしがあなたに伝えたいと望む事を全て、受け取る事ができるようになるのか。

ここまでわたしは、インパーソナルな領域について様々なかたちで描写してきました。それによりあなたが、このインパーソナルな状態と、それに至っていない状態とを間違える事なく、見極められるようにするためです。そして意識的に、あなた自身の意思をもって、ここにわたしと留まる事を学んでいけるのです。

あなたが意識的にインパーソナルな状態に留まり、わたしが話す時にはいつでもその言葉を意識の中で受け取り、そしてそれを理解できるようになった時 – その時にこそわたしは、あなたの中にある特定の能力の数々を呼び起こし、実際にそれらを行使していくのを許す事となるでしょう。まずはこの能力により、あなたは物事の実相をより明らかに見る事ができるようになります。例えば、あなたの周りの人々についても、その美しさや愛らしさがはっきりと見えてくるばかりではなく、彼らの弱点や欠点、至らない部分についても、明確に分かってくるのです。

こうして、人々の弱点や欠点がより見えるようになるのは、無論あなたの兄弟姉妹を批判したり、裁いたりするためにではありません。それは、あなた自身の中にあるそれらの弱点・欠点を、自分自身こそが克服するようと呼びかける、わたしからの働きかけであるのです。なぜならば – よく聞いてください、**あなた自身の中に今以てその弱点・欠点が無ければ、あなたが彼らの中にその要素を見出す事はないのですから。**そうでなければ、あなたの中のわたしが、これらの要素に対し注意を引く必要はないはずなのです。全ての事象は実際に役立てるため、つまり物事に適用し、生かしていくために起こっているのであり、そのためだけにあると言えるのですから。

わたしがあなたに始めから与えていた能力、才能や力を、あなたがこれまでどのように使ってきたか、考えてみましょう。

あなたに全てを与えてきたのはわたしに他ならないと、もうあなたは理解していることでしょう。あなたが今ある状態、あなたが持っているもの全て – 良いものも悪いものも、祝福も苦しみも、豊かさも乏しさも – あなたに全てをもたらしたのはわたしです。なぜか？それらの事象を、あなたの覚醒に役立てるためにです。全ての善きものを与えようとしているわたしの存在を、あなたが認識し、わたしに目覚めるためにです。

そう、あなたに起こる全ての物事に、それぞれの役割があると言う事です。もしまだ、全てに意味があるという事に気付けないなら、わたしが全てを与える存在であると認識できていないからでしょう。神我(アイ・アム)こそが全てを与えている存在であるという事を知らずして、わたしを認識する事はできないでしょう。

人間としてのあなたは、わたしが与える事象の数々を避けようとしたり、それらを他のものと交換してしまおうとしたりと - 全てをもたらしている神我、本当のあなた自身、つまりはわたしの存在をすっかり忘れてしまう程に、夢の中に没頭してしまったのです。

今あなたは、全てをもたらす存在としてのわたしを、認めつつあるかもしれません。人生で出会う全ての物事を創造している創造主、つまりあなたの内的実体とは、このわたしであると。あなたの現状に対する認識がどのようであれ、それに気付きつつあるかもしれません。

あなたに全てを与えているのも、それに対するあなたの気付きも、どれもわたしが導いています。これらは全て、あなたの中に存在する完全性、あなたというアイデアをわたしが表現していく過程として、外界で起こっている事に過ぎません。あなたの完全性 - つまりはわたしの完全性が、あなたの中から少しずつ顕れてくる過程に過ぎないのです。

気付きが進むにつれ、全ての物事、条件、経験について、わたしが与える真の意味と役割が、あなたにも明らかになるはずです。そしてあなたは、自分自身の中にあるわたしのアイデアを感じ取るようになり、そしてその光が一瞬でも見えるようになれば、あなたはわたしを、本当のあなたであるところの神我を、遂に知る事となるでしょう。

わたしを真に知る前に、あなたはこの事を学ばなければなりません - わたしがもたらししている全ての事象は、例外なく全て、善きものであると。全ての事象にそれぞれの役割があり、それらについても役立てていくのは、わたしであるという事。そして人間であるあなたにとって、それらの事象から得られる利益や価値、何らかの権利等は、真の意味では存在しません。あなたがそれらの事象に与える意味により、あなたの受け取るものが変わってくるだけなのです。

わたしがあなたという存在を通して、美しい音の調べや色、言葉表現し、それが所謂「音楽」、「芸術」、「詩」となって顕現する事になるかもしれません。そしてそれらの表現が人々に影響を与え、あなたは時代の寵児として賞賛を受ける事になるかもしれません。わたしがあなたの口を通して話したりするかもしれません。またはあなたに靈感を与え、真実についての文章を書くよう導くかもしれません。それが多くの人々を惹きつけ、あなたを素晴らしい教師として崇める事になるかもしれません。

更に、わたしはあなたを通して様々な病を癒す事になるかもしれません。悪魔を祓い、盲人の目を見えるようにし、足のなえた人を歩けるようにしたりと、世界が奇跡と呼ぶような事を多く為す事になるかもしれません。

実に、わたしはあなたを通してこれらの事を為す事になるかもしれないのです。しかしあなたが、例えばこの音の調べを、人々が天の甘美なる音楽を聴くためのものとして役立たない限り、あなた個人には何の利益も価値も生み出さない事になります。またあなたが、その色と形に対する美的感覚を、人々の気持ちを高め、力を与えるようなものとして表現しない限り、あなたにとってそれは何の価値もありません。真の芸術とは、わたしの完全性を、人間表現の中に明らかにする事である - この事を、証していくのです。わたしの愛は、あなたを通して彼らの心へと届き、彼らの中に潜むわたしのイメージを映し出していくものとなります。

同じく、あなたを通してわたしがどんなに素晴らしい真実を語り、素晴らしい事を為したとしても、あなた自身が毎日、毎時、これらの真実を生きていかない限り、それはあなたにとって何の影響も持たない事となるのです。わたしの愛するあなたに、そして全ての人々に、わたしは自らの力を惜しみなく与えています。わたしの力を人々が思い出すために、その奉仕のためにあなたの作品が使われなければ、それは何の意味をも持たないのです。

そして、才能など何も与えられていないと感じているあなた。自分の存在には価値が無く、神に奉仕するような立場にはないと感じているあなた - あなたに伝える事がありません。

あなたの中のわたしの存在をどれだけ認識できているか、そしてどれだけ真剣に神に奉仕したいと思っているか、その程度によってわたしは、あなたの存在を役立てていけるのです。あなたの個性がいかなるものであろうとも、どのような欠点、性向、弱点があろうとも、関係はありません。

あなたの兄弟姉妹達がわたしの存在に気づき、目覚めて欲しいと願うあなた。そのようなあなたにも、わたしは力を与えます。出会う人々にインスピレーションを与え、彼らの意識を高めへと引き上げ、周りに対する考え方や態度が変わってしまうような - つまりは、わたしへの態度が一変するような影響や感動を、あなたは与える事ができるのです。実にわたしは、わたしに仕えたいと願う全ての者を、その置かれた場所に命をもたらす力として、用いていくのです。多くの人の生き方を変化させ、彼らに夢や希望を与える力、またその夢に対し影響を与える力として、あなたを用いるのです。世事の中にありながらも、これら目に見えない影響の全てが、着実な変化に向かい、熟成を重ねていくのです。今のあなたにとって、このような話は理解し難いかもしれませんが。わたしに仕えたいと強く思い、わたしともっと交わりたいと強く憧れながらも、自分は何もできていないし、失敗ばかりしていて、神の理想に生きる事ができていないとさえ思っているかもしれません。この強い願望、憧れの気持ちこそが、まさに、わたしがあなたに霊的な力を与えるための道である事を、あなたはまだ気付いていません。この願望や憧れの気持ちは、境界や限界が無いインパーソナルなものであり、わたしの意図をあなたの心に伝える手段、そしてあなたの生活に影響を与える手段として、まさに内在のわたしが用いているものだという事を、あなたは気付いていないのです。

この事をあなたが悟る時、そしてあなたが持てるもの全てをわたしへの奉仕として役立て、この悟りを証していく時 - 全ての境界・限界を超えたわたしの力、智慧、愛を、あなたが意識的に用いる事ができるように、わたしはあなたにその強さと能力を授けます。あなたの人間としての個性、つまりあなたが持つ能力や力、所有物などの全てが、実はわたしのものであり、あなたを通してわたしがそれらを活用し、表現しているという事も、すぐに分かってくるでしょう。全てがわたしの顕れのためであり、本当の成功と喜びというものは、この目的以外においては得られないものなのです。

植えた種が成長し収穫を迎えるように、この意識は、あなたの中で進化していくでしょう。わたしのアイデアの究極のかたち、完成形としてのあなたが、わたしの霊力の全てを意識的に用いるという事 - それはあなたの人間的個性を通してのみ、表現され得る事なのです。

第十二章 ソウルメイト

ここまで、あなたに全てをもたらしているのはわたし(神我)である、という事を話してきました。しかしまだあなたは、この事実を完全には認識できていないでしょう。おそらく、今現在のあなたの立場・状況が、あなたの中に脈打つ神のアイデアを表現していくのに最適なものであるとは、とても信じられないかもしれません。

もしそうであるなら、今の状況から抜け出し、あなた自身が選ぶ状況へと進めばいいのですが - それができているという事は、今のこのあなたの状況は、あなたが目を覚ますために最適なものであるという事なのです。わたしの完全性をあなたが表現するのに必要な資質、能力をあなたの中に目覚めさせるのに、今のその状況が最適なものであるという証拠であるのです。わたしが、つまりあなたの真我が、今の状況に留まる事を許しているのです。あなたの力の中に潜むわたしの目的とその意味を見出すまで、その状況があなたを不安にさせ、不満足感を与える事も、不可欠な要素であるのです。

わたしの与えた意味をあなたが見出し、わたしの目的をあなた自身のものとする時にこそ、あなたがその状況を抜け出し、更なる高みへと進んでいく力を与えられるのです。あなたの夫や妻が自分に合っていない、その関係があなたの“スピリチュアルな目覚め”の邪魔になっている - と感じている人がいるかもしれません。今のパートナーのもとを去って、あなたにより同情的な別の誰か、あなたの願望を理解してくれる誰かと一緒になったほうが、理想に近づけるのではないかと、密かに考える事もあるかもしれません。そのようにして今の状況から逃げ出すのなら、それもいいでしょう。それでもあなたは、あなたという個性からは逃げられないという事を覚えておいてください。“スピリチュアル”なパートナーを求めたにも関わらず、あなたのその身勝手な願望の故、新しいパートナーとの関係は更に長い時間あなたを迷わせる事となり、又しても思考による幻想に陥ってしまう事となるのです。

同情的で、あなたを褒めそやすようなパートナーとの関係は、あなたの人間的な自惚れや、“スピリチュアルな力”に対する身勝手な欲望を高め、あなたのエゴの部分之余計に発達させてしまうのです。同じく、あなたがわたしのインパーソナルな愛に目覚めていない状態のまま、愛情深く従順過ぎるパートナーがいると、あなたの身勝手さや虚栄心を助長する事になります。一方、横柄で疑い深く、口やかましいパートナーは、あなたの魂に必要な規律、自制心を養わせるのです。

あなたのソウルメイトという存在は、実は、天に属する天使であるという事を、あなたは知らないでしょう（実際にはあなたも同様に天使であり、わたしの一部なのですが…）。自分自身の人間性・個性を浄化する事で、神の愛があなたにより現されるという事を、その天使は教えています。人間性・個性が浄化されたその時にこそ、あなたを今縛っている状況、不安感や不満足感などからも解放されるのだという事を、その天使は伝えているのです。

天から降りてきたこの天使 - わたしと、そしてあなたの真我と一体であるこの魂は、あなたを通してインパーソナルな愛が表現される事を切望し、そのために熱心に働いています。調和の取れた心と自制心を持ち、人々に対し心を尽くして、思いやりをもって接する事。境界を超えた、インパーソナルな愛を表現していく事。あなたがそれを果たす事で、

この天使は自身の存在を自由にし、その神我となり得るのです。この魂が地上のあらゆる束縛から自由になった時、そしてその聖なる美しさをあなたが目撃するまでは、あなたが探し求めている「理想の存在」というものは、認識できないままでしょう。

あなたの「理想の存在」というのは、あなたの外側に存在しているではありません。他の人の中に存在しているのでもありません。それはあなたの中に在る、あなたの聖なる片割れなのです。それはわたしであり、あなたのハイヤーセルフ、不死のあなたであるのです。それはわたしのアイデアであり、完成されたあなたなのです。その存在は、人間であるあなたの個性を通して顕現し、表現される事を切望しています。あなたはわたしの与えたパートナーの中に、所謂「不完全さ」を見出していますが、全てはこの働きのためであるのです。

あなたが、愛情や同情、評価、霊的な助け等を自分の外側に求めるのを止め、内側に在るわたしにのみ頼る時が、確実に来ます。その時、あなたが自分の、そして人々の中に見出していた「不完全さ」は消え失せます。そしてあなたのパートナーの中にも、無条件の愛や優しさ、信頼、そして人を幸せにしようとする努力などしか、見出せなくなるのです。それを目撃する時、あなたの内側からも、その愛がより明るく輝き始めるのです。

このような事を聞いても、今のあなたにはまだ信じられないかもしれません。そしてわたしが、つまりあなたの神我が、今のあなたの状況を創り出したと、あなたのパートナーを選んだのだと言われても、疑問に思う事でしょう。

全てが明らかとなる時が来るまで、疑いの気持ちを持っていたでもいいのです。

それでも、覚えていてください。あなたがわたしを信頼し、わたしに答えを求めるならば、わたしはより分かりやすく、あなたの内側から直接あなたに語りかけます。堅い信仰をもって、より深い所でわたしに語りかける者に対し、わたしは最も聖なる事実を授けるべく、そこで待っているのです。

それができないというあなたへ、わたしは伝えたい事があります。真のあなたが、つまりあなたの神我があなたを今の状況に導き、あなたのパートナーに出会わせたのでなければ、なぜあなたは今その場所に、その人と共に存在しているのでしょうか？

よく考えてください。

わたし、つまり全なる存在、完全無欠の存在は、間違いなど犯さないのです。

「でも、個人的存在である我々は間違いを犯すでしょう？」とあなたは問います。“個人であるわたし。こそがパートナーを選んだのであり、この選択が間違っていた可能性もあると。

では何が、誰が、あなたの個人的意識にその特定の人を選ぶように働きかけたのでしょうか。何があなたに、その特定の場所・立場を選ばせたのでしょうか。あなたが一緒に居るその人を、あなたと出会えるその場所に導いたのは誰ですか。そもそも、世界の数ある国々の中、その特定の国のその町に、その時代にあなたが生まれるように導いたのは、一体誰なののでしょうか？百年後、他の町に生まれるという可能性だってあったわけです。”個人であるあなた。が、それを全て選び、成し遂げたのですか？

自分自身に問いかけてみてください。答えが見出せたのでしょうか。それは全てわたしがーあなたのの中の神が、つまり本当のあなたが全てを行ってきたのであり、そして全て成功したのだと、分かるはずです。

わたしは、アイデアを表現していきながら、全てを行っているのです。このアイデアは常に、あなたを通して、その完全性を外界に向かって表現しようとしています。わたしの生ける

本質であるあなた、心の奥深くの、この永遠の中に存在するあなたによって。

他の人々の話を聞き、“真のソウルメイト”というものが何処かであなたを待っていると信じ込み、今もその存在を探し求めているあなたへ。“ソウルメイト”を外の世界に探し求めるのを止めましょう。その存在は、あなたの外側の誰かとして存在しているのではなく、あなたの魂の中に居るのですから。

あなたは、自分自身が完全となる事を切望し、助けを求めています。その感覚は内側に在るわたしの声そのものなのです。それは、あなたを通して表現される事を待ち望む、わたしの声であるのです。あなたの聖なる傍(かた)えであるわたしは、あなたの深奥に在る霊です。あなたの片割れであるわたしこそ、そしてわたしだけが、あなたと合一すべき存在であるのです。あなたが地球に来た目的を、ここで表現すべき事を成し遂げるには、わたしと融合しなければならないのです。

あなたの真の自己であるインパーソナル・セルフ – 全ての境界を超えた、普遍の自己と結びつかない限り、このような話はただの謎としか捉えられない事でしょう。それでも、疑わないでほしいのです。あなたがわたしに全てを明け渡し、わたしとの融合のみを求める時、わたしがあなたのためにずっと取っておいた天の喜び、忘我の高みを、あなたにもたらししていくでしょう。

第十三章 真の智者

地上におけるわたしの表現、その神秘について、納得がいくような説明があるのではないかと、未だ本を読み、外の世界に答えを求めていきたいと思っていますか？もしそうなら、あなたに伝えたい事があります。

外の世界に答えを探し求めるのも良いでしょう。わたしのアイデアについて、他の人々が解釈した事を学んでいくのも、それはそれで良いのです。そういった探求の道についても、あなたが想像できないようなかたちで、わたしが益としていくのですから。

古代の教えや哲学、宗教、異文化の中に真実を求めていく事も、それはそれでいいでしょう。こういった道についても、無益に終わるという事はありません。

それでも、他の人々が行き着いた思想や、宗教から生まれた教えなどは、それがどんなに真実に近く美しいものであったとしても、わたしがあなたという存在に対し意図したものではないという事を、あなた自身で理解する時が来ます。わたしは、あなたのための思想と教えを、あなたのためだけに取っておいてあるのです。あなたの準備が整った時、あなたはこの思想と教えを、人知れず受け取る事になるでしょう。

今あなたが興味を抱いている教え、宗教などにも、不満足感を覚える時が必ず来ます。例えば、その本を著した作家、哲学を生み出した教師、宗教指導者などが主張している霊的力や成長の獲得に、あなた自身が全く近づいていない事に気づき、失望する時 – これらの本や教え、宗教などの全てがわたしからのインスピレーションを基に始まったものであり、多くの人々に影響を与えるという役割を果たしながらも、あなたにとっては、その役割を終えたものであるのです。ここであなたは、外の世界に力を探し求めるのを止める事

になり、わたしによる「命の書」 - つまり、あなたの中に在るわたしにのみ、導きと教えを求めていく事ができるのです。あなたが真摯に、忠実にこれを行っていくのなら、やがてわたしはあなたに、霊的指導者としての立場をも与える事になるでしょう。遠くの星が発する、小さな光のような知識しか持ち合わせていなかったあなたは、今や太陽そのもののように、人々に光を与える存在となるのです。

古代の宗教は、わたしがその当時の人々に与えたものであり、他民族の宗教は、わたしがその民族に与えたものであるのです。そのどれもが、あなたのためのものではないという事を、あなたは悟る事となります。それらの教えにあなたを導き、そこから驚くべき神秘についてあなたに伝え、より内在の神についての探求を深めるように促したのも、わたしだったのです。

実に、それらの教えや哲学は過去のもので、あなたとは何の関係もないのです。あなたは気付いていないかもしれませんが、あなたがこれまで外の世界から獲得してきた知識の数々、つまり全ての教え、宗教的考え、書物などから得た知識の全てを、放棄すべき時が来たのです。今読んでいるこの本に記されているわたしの言葉さえも、あなたの外側からのものです。その他のわたしの表現についても、あなたの外側にあるものである限り、捨て去る時が来たのです - あなたの中のわたしの意識はより活発になるよう促され、これからは、外の世界に由来する全ての権威、教え、宗教が、いかにその内容が高尚で神聖なものであったとしても、あなたに影響を与えるものではなくなるのです。それらは単に、あなたの中のわたしへと意識を向けさせるよう作用するものとなります。あなたの中のわたしの意識は、全てのものに応える究極的な権威、力なのです。

それなら、なぜあなたは過去のものに答えや助けを求めようとするのでしょうか？宗教や人間的知識、他人の経験など - 本当の助けや導きをあなたに与えられるのは、わたしだけであるのに。

過ぎ去ったものは、全て忘れなさい。過去に属するものに、生命はありません。なぜ、死んだものを魂に背負おうとするのですか？

あなたが過去のものにしがみついている分、あなたは過去に生きている事になります。そうしていると、常にある「今」、永遠の中に棲まうわたしに会う事はできなくなります。過去に経験した事や、過去に学んだ宗教的考え、教え等にしがみついている分、あなたの魂のヴィジョンは曇り、わたしを見えなくしてしまいます。過去の教えがあなたの目を曇らせていて、その影響からあなた自身を解き放ち、内側へと向かい合わない限り、わたしを見つける事はできません。自分自身を自由にし、あなたの内側にある光、どんな境界も限界もない、全てのものの実相を照らす、インパーソナルな意識の光へと向かわない限り、わたしを見る事はないのです。

同じく、「未来」というものも、実際にはあなたに関係ないものなのです。「未来のいつか、自分は完璧になるのだ」と思っている人は過去に縛られており、そのままでは自由になれないのです。自分の行為の結果などに縛られる事なく、内側のわたしにのみ導きを求め、全ての責任をもわたしに負わせる事ができた時、彼は自由になるのです。

わたしとひとつであるあなたは、まさに今、完璧な存在なのです。これまでずっと完璧であったし、本来のあなたには年齢というものも、生死さえもないのです。

完璧な存在であるあなたにとって、過去にどのような状態であったか、またこれからどうなっていくのか等という事は、本来、無関係なのです。永遠の今以外の時について、気にする必要はありません。あなたが氣にとめるべきものは、今あなたに対峙している物事だ

けなのです。今あなたが居る時空間はわたしが導いた場であり、わたしのアイデアを完璧な
かたちで表現する事ができる状況であるのです。

その時空間での表現が全て済んだ時には、それを忘れる事です。済んだ状況に執着しない
事です。既に貝肉が採られた、空っぽの貝殻でしかないもののために、自分の精神と魂の
力を使うのを止めるのです。

この事は、輪廻転生という考え方にも当てはまります。この考えには、多くの人が縛られ
やすいようです。

今完璧な存在であるあなた、永遠の存在であるあなたにとって、過去生や未来生というも
のに何の意味があるのでしょうか？完璧な存在に対し、何か付け加える事があるというの
でしょうか？永遠の存在が、永遠から離れてまたそこに戻る、などという事があるでしょ
うか？

わたしは存在します(アイ・アム)、そしてわたしとひとつであるあなた、あなたも存在し
ます。わたしたちはずっと存在してきたし、これからも永遠に存在するものです。わたし
(アイ・アム)そのものであるあなたは、わたしのアイデアを表現するという目的のため、今
現在、全ての存在の中に在るのであり、全ての存在として生まれ変わるのです。

人類そのものがわたしの身体なのです。この中にわたしは生きて、このアイデアの栄光を
様々な側面から表していますが、この光は、人間的知性の曇った部分、不完全な部分によ
って暗くされ、間違ったかたちで受け取られているのです。

わたしと、わたしとひとつであるあなたは、樫の木が季節ごとにその葉やドングリとして
生まれ変わり、そこからまた何干という樫の木が誕生し、何世代にもわたって生まれてい
くように、人類そのもののの中に転生するのです。

あなたは「自分の前世を覚えている」と言います。

それは本当ですか？本当に自分の前世というものを覚えているのですか？

いいでしょう、しかしそれを覚えているからといって、それが何を意味するのでしょうか。
わたしが過去に行った表現のひとつの、ほんの僅かな部分をあなたに見せ、あなたが
わたしの事をより理解できるようにしただけであって、その表現があなた個人であったと
いうわけではないのです。

わたしは、全ての存在を通して表現を行っているのであり、そしてあなたはわたしと共
に、あらゆる性質・年齢の、あらゆる民族存在の生命、その知性そのものであるのではな
いですか？

もしあなたが、自分はある特定の表現体であったと信じる事で喜びを感じるのであれば、
それはそれでいいでしょう。その信条をも、わたしはあなたに益となるようにするでしょ
う。それはあくまで、その後来るべき覚醒に向けた計らいに他なりません。

そうしている間にも、あなたはすぐに特定の考えに縛られてしまいます。身勝手な欲望や
目的を伴ったあなたのパーソナリティは、その手足を未だ、過去に縛りつけられたままで
す。その精神と知性は、生死に関する偽の信条に固執しており、究極的な解放に至る唯一
の方法は死であり、死の時にこそ神であるわたしとひとつになれるのだ、等と信じ込んで
いるのです。この考えは、あなたが常にわたしとひとつであり、これからもそうあり続け
るという事実、そしていつでも自分自身を解放する事ができるという事実を悟るのを、妨
げてしまっているのです。

生まれ、そして死んでいくものは個人性、パーソナリティであり、それは身体の中に、そ

して地上での生活に長く留まろうとします。わたしがその身体の用途を終えた時、パーソナリティは他の身体に帰って来ようとしています。

あなたはただ、このパーソナリティに縛られているのです。遠い昔からあなたは、パーソナリティにとっての益や、その意見に、背中を縛られているのです。あなた自身の神としての不死性、全能性、そして神的知性に目覚めない限り、個人的信条や意見というものから脱皮し、この歪んだ関係から真のあなたである神我を解き放つ事はできません。あなたが本来在るべき場所、わたしとひとつの存在であるマスター、王として、この神我の座に着くのです。パーソナリティは、それ自身の然るべき位置、つまり、あなたへの仕え人・臣下としての位置に還す事です。仕え人としてそれは、わたしの命じる全ての事に喜んで従う事ができ、本来の立派な役割を果たしていけるのです。

第十四章 ミディアム

わたしに仕える事を希望し、キリスト教会や宗教団体、オカルト団体や修道会等に関わってきたあなた。彼らの仕事を助ける事でわたしを喜ばせる事ができ、特別な願い事も叶えてもらえるのでは、と信じてきたあなた - これからわたしが話す事をよく聞き、これについて熟考してほしいのです。

まず、わたしは既にあなたの存在について喜び、満足しているのです。時にあなたは、自分自身の欲望を優先し、わたしの意思に反する事を行っていると感じているかもしれませんが、あなたが為す事全てをわたしが導いているのであり、結局はわたしの欲するところを、あなたは行っているのですから。

同様に、全ての意識に対し、全ての人生経験を与えているのも、わたしであるのです。これらの経験は彼らの身体を調べ、心を賦活(アクティベート)し、意識を進化させ、その結果彼らはわたしを理解する事ができるのです。そこから、わたしのアイデアが彼らを通して表現されていくのです。

彼らが人生を経験している間にもわたしは、彼らがわたしを、そしてわたしのアイデアを垣間見る事ができるように、インスピレーションを与えています。このインスピレーションを通し、わたしは多くの者に語りかけているのです。その声を聞いた者はわたしの言葉を受け取り、本として残し、他の多くの者に対し教える事ができるのです。その筆者や教師が言葉の本当の意味を理解していない場合にも、わたしの言葉を受け取る用意ができている者に対しては、それが彼らの心と意識を賦活していくよう、わたしがはたらくのです。わたしの存在の光、アイデアの一瞥を彼らに与え、彼らの意識を霊化した事により、多くの者が教師や指導者となっていきました。彼らは、教会や結社、教団等を築き、多くの求道者や信奉者を惹きつけました。その教師やリーダー達を通してわたしは語り、そしてわたしを認識できる者達の心と意識を刺激していったのです。

わたしが、内在のインパーソナルな存在が、この全てを成し遂げているのであり、その教師や指導者達は、実に、何も行っていないのです。彼らはただ、わたしのアイデアを人々に

対し表現する媒体(チャネル)として働いているのです。

意識は媒体であり、知性は伝達手段のための道具でしかないのです。わたしのアイデアを伝える必要がある場合には、いつであっても、どこにおいてでも、わたしは境界を超えて、それらを用いる事ができるのです。心が賦活され、わたしを受け入れられる程に大きく開かれない限り、例えその人を通してわたしのアイデアが表現されたとしても、彼はその意味を理解する事はできません。限りある意識と知性によってでは、わたしの意味するところを理解できないのです。

わたしに仕えたいと願っているあなたはおそらく、驚くべき事を語る教師や指導者、特定のパーソナリティを思い浮かべる事ができるでしょう。わたしがその人を通して語っていて、彼らの心は神を内包していたのだと。

命令に従わなければわたしを怒らせてしまう、という恐怖感を抱き、疑いや不安の気持ちから、わたしを喜ばせようとしたあなた。あなたは、そういった内容を伝える教師や指導者を訪ねた事もあるでしょう。もしかするとそれは、高い地位にある司教や祭司といった人々だったかもしれません。あなたは、彼らを通してわたしのメッセージや助言を得られるのではと、そしてその“マスター”や“ガイド”から、何らかの助けを得られるのではと思ったのです。しかしながら、必然の結果として幻滅の時は訪れ、悲しみと屈辱の中、あなたは結局自分自身へと - つまりは内なる教師、真のあなたであるわたしのもとへと、還る事となるのです。

実に、お金や奉仕は勿論の事、あなたの献身と熱意の全てを取上げてしまう全ての欺瞞、全ての訓練、修行。あなたは、それがわたしのための仕事であると信じていましたが、それはあなたから盗み、あなたを利用し、彼らの自身の力と追従者の信心を築き強化するための、利己的なものであったのです。彼らは、美しい霊的教義の調べを操りながら、巧みな詭弁によりあなたをおだてたり、霊的成長を約束したりして、あなたを彼らのもとに縛りつけようとするのです。それは彼らを絶えず礼讃させ、奉仕させるためであり、あなたが絶対的な信仰を持ち従順でなければ、神であるわたしを怒らせる事になる、とあなたを脅すのです。いかにも、その全てを許したのも、このわたしです。これらの体験もあなたが求め、望んだものなのであり、そしてあなたの願望というものは、実に、わたしの意思の媒体であるのです。

もしかするとあなたは、ここまで述べたような類には当てはまらない“教師”に傾倒していた事があるかもしれません - つまり、その善意・誠意がどれほどのものか、霊的智慧がいかほどのものであるかに関係なく、何らかの目に見えない存在に対して献身し、無償の愛と忠誠を捧げた事があるかもしれません。そこから、あなたにとってはかけがえのない教えや導きを、実際に受け取ったかもしれません。

そこで求めているものが見つかり、必要が満たされていると感じている間は、それはそれで良いのです。わたしはそういった願望についても、必要なものは全て与えます。しかし、覚えていてください。あなたが真に求めている結果を得るにあたっては、そういったものの全てが結局のところ無意味であり、非生産的なものであるのです。なぜならば、

何か霊的な事を達成したいという願望・欲求はパーソナリティの領域に由来し、身勝手なものであるため、最終的にはあなたに失望、幻滅、屈辱を招く事となるのです。

このようにあなたが幻滅し、屈辱を感じた時こそが、真の結果を得られる時であるのです。人間である教師、または目に見えない存在である教師から助けを得ようとしたあなたに、その機会を与え導いたのもわたしであり、そしてその経験から得られた幻滅や屈辱も、あなたが今一度小さな子どものように謙虚に、素直になれるよう、わたしが意図的にあなたにもたらしただけのものであるのです。その時にこそ、あなたがわたしの声に聞き従う準備は整うのであり、そして遂にわたしに聞き従えるようになった時、あなたは、天の御国へ歩み入る事となるのです。

実に、自分の外側への探求は、このように終わりを迎えます。外の世界に答えを求めてきた事により疲弊し、裸になり、飢えたあなたは、ついにわたしの教えを喜んで聞くようになり、そのパン屑さえも欲しがる事になるのです。それまで、頑なな心と自惚れがあったあなたは、その自尊心の故、わたしの言葉に価値など無いと判断していたのです。

そして今、あらゆる教義の数々やその教師達について、もう充分だと悟ったあなた。全ての智慧の源は自分の内側にあり、そしてその智慧の声は、あなたの心に、言葉にできない程の喜びをもたらす事を知ったあなた。その喜びこそが、あなた自身の内側で、何が真実であるかを確信させるものであるでしょう。

この事がまだ感じられず、橋渡し役・伝導者、ミディアムが必要だというあなた。あなたの罪を贖うため十字架にかけられたキリストの話を、わたしはあなたに与えてあります。それはあくまで、パーソナリティを十字架にかける事で、あなたの意識は天のものとなり、わたしとひとつになれるのだという事を教え、このように生きて欲しいという事を教えるものであったのです。

内側でそれを感じられる、強い心を持ったあなた。あなたとわたしの間に、橋渡し役といった者は必要ありません。あなたとわたしは既にひとつなのです。あなたの意識は一瞬にしてわたしとひとつとなるべく、わたしに直接向かう事ができるのです。わたしは、つまりあなたの中の神は、あなたを受け入れ、永遠にあなたと共に在るでしょう。つまり、わたしの子、ナザレのイエスがそうであるように。千九百年前と同様に、わたしは今でも、イエスという存在を通してわたし自身を表現しています。そして同じようにあなたも、ある時からわたしを表現する事になるのです。

非常に美しい、霊的な教えを説きながらも、それを授ける当人がその教えに沿った生き方をしていない事があるのはどうしてか…あなたは、不思議に思う事があるでしょう。

わたしは、わたしの意図するところを伝えるため、人格というものを超え全ての方法・手段を通し、表現を行っているのです。

優れた表現体、ミディアムでありながら、個人としてはわたしの存在、つまり神というものについて何も知らない、という人もいます。

またある存在については、わたしがその心をより活発にし、わたしの存在を抱く事ができるように調えたため、意識的にわたしとひとつになる事ができるという場合もあるのです。

意識がわたしと離れる事なく、既にわたしとひとつである存在もいます。彼らの中にわたしは生き、活動し、彼らの存在を通してわたしの霊的性質が表現されるのです。

地球表現の初期の頃、わたしは「司祭」や「預言者」、「救世主」などのような存在に、わたしのアイデアを地上に示していくという役割を与えていました。わたしの言葉が人となっ

たかたちです。

たとえわたしが司祭、預言者、救世主などを通して語ったとしても、小さな子どもや、あなたの最大の敵を通して語ったとしても、その言葉が強く響いたのなら、それはあなたの真我(アイ・アム)が、その媒体たる人物を通し、あなたの魂意識に語りかけたものなのです。

何人もの人が集まり、司祭である人物の話を聞くという場合にも、実際人々に語りかけるのはその司祭ではなく、それぞれの人の心の中にいるわたしが語っているのです。わたしがその司祭の中から、核となる言葉を引き出し、それぞれの人々の意識の中に深く浸透するべく伝えているのです。

司祭のもとに集うその人々が、意識的に、または無意識的に抱えている信仰心や心情を引き出すのも、またわたしであるのです。それらは伝送路、連絡線のようなかたちで用いられる霊的(スピリチュアル)な力であり、そこにいる人々がわたしの伝えるところを理解できるようわたしが調べ、用いるものなのです。

わたしは全ての人々に同じ言葉で語りかけますが、その言葉はそれぞれの人にとって個別の、独自のメッセージを持っており、彼自身の他にそのメッセージを知る者はいないのです。

それはつまり、あなたの中のわたしが、あなたがその言葉から受け取るべき意味、わたしがあなたに伝えようと意図している意味を選んでいるのであり、またあなたの兄弟姉妹にとっても同じように、わたしがそれぞれに伝えている事があるのです。ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるのです。と言うのも、彼らが一同に会する事となったのは、わたし自らが彼らの中にあるわたしのアイデアを引き出し、鼓舞したからなのです。彼らのわたしに対する想望がひとつとなった時、彼らの魂がわたしを感じ取る事ができるように、わたしはミディアムやチャネルという存在を生み出すのです。

全ての司祭、全ての教師、全てのミディアムといった存在は、直観的にこの事を知っています。彼らは、わたしが選んだ牧師のような存在なのです。わたしは、わたしの存在を自身の意識に宿す用意が整った人に対し、人々を導いて行きたいという願望をその心の中に目覚めさせるのです。

司祭、教師、ミディアムといった立場にありながら、わたしの存在を内側に認識する事ができないという人もいます。そのような立場にありながら、自分の外側の存在、つまり自分以外のマスターやガイド、救世主といった存在の中にわたしの存在を見出している人もいます。それでも、わたしは彼らのもとに人々を導き、その人々の霊的な力をもって、その牧師的立場の者に語らせる事ができるのです。全ての人の心の中心に棲まうわたしの存在を、その魂をもって認識できるよう、わたし自らが導くのです。

わたしの牧師達の真我(アイ・アム)、そしてそこに集う人々それぞれの真我(アイ・アム)は、ひとつであるからです。その意識において、理解において、愛において、そしてその目的において、皆ひとつなのです。そしてその目的とは、わたし(アイ・アム)の意思の成就であるのです。

完全に境界を超えたインパーソナルな存在、この真なる存在(アイ・アム)は、時間や空間、個体というものを知りません。

牧師やそこに集う人々の人格・パーソナリティ、またその状況や個々人の繋がりなどを役立てていきますが、それは外界に現れるべきわたしのアイデアに、声を与えるためなのです。

信仰者達が牧師を信頼し、そしてその牧師が個人的な目的のためその関係を利用していたとしても、わたし自身が最適な時に動き、彼がわたしの意思とアイデアに目覚める事ができるようにしていくのです。こういった目覚めの経験というものは、彼個人のパーソナリティにとっては不快なものとなる場合が多く、たいていの場合、多くの苦しみや屈辱の気持ちを味わう事になります - しかしその時期を過ぎれば、彼らの魂は歓喜し、わたしへの賛美を唄うのです。

ですから、真実の言葉を語りながらもそれに相応しくないとと思われる人、その意味を理解しているとは思えない人がいたとしても、不思議に思う事はありません。また、一人の慎ましい生徒が、教師よりも早く目覚め、成長する事があったとしても、決して不思議な事ではないのです。教師と生徒、両者の内にわたしは在り、それぞれに異なった状況、そしてわたしのはたらきが現れる方法を与えています。つまり、それぞれがお互いを補い合い、助け合えるような時期と場所を、わたしは与えているのです。全ての人にとって最も調和的なかたちで、わたしのアイデアが表現されるよう、全てのものをひとつにしていくのです。

第十五章 マスターという存在

「わたし」とひとつになるためには、“マスター”、“教師”といった立場の者が必要であるという教えを信じ、未だそれに固執しているあなた。

これまで、あらゆる神秘主義・超自然についての書物や教えを追求する機会を、あなたに与えたのは事実です。これらの教えで取沙汰される力、神との合一に必要であると言うその“力”を手にいれたいという、あなたの秘めたる願望を促し、そしてその“力”の芽生えを感じるところまで、わたしはあなたを導きました。

そしてある特定の訓練、呼吸法を行い、マントラを唱える事で、目に見えない世界から“マスター”を迎えられるという考え - そのマスターが、内なる次元において進化するためのイニシエーションを受ける事ができ、そこで聖なる知恵があなたに開かれる - といったような考えを持つ事も、わたしはあなたに許しました。

そういった探求を許したばかりではなく、事実、あなたをそれらの書物や教えに導いたのはわたしであったのです。あなたのその願望を鼓舞し、それらの教えがあなたの意識の中に留まるのを許しました - しかしその目的は、あなたが思っていたものとは異なります。

実にわたしは、これら一連の教えにあなたを導き、あなたの人間的意識が、わたしのアイデアを表現するために用いる力を理解できるように、その力に対する願望や信心をそこにもたらしたのです。

わたしは、あなたの人間的意識が理解できるように、これらの力を天界のヒエラルキーと
いうかたちで表現しました。わたしは、それらの力を天使や聖なる存在として表現し、初
めから存在していたこのアイデアを実際に表現・遂行していく、インパーソナルな存在、媒
体として顕したのです。

しかしながら、あなたはこの事について正しく理解できなかったのです。

あなたの人間的知性は、事実いくつかの教えで語られているように、これらの聖なる存在
に会い、交流できるかもしれないという可能性の方に心を奪われてしまいました。これら
の力を「個の存在」として、パーソナリティとして捉えるに至ったのです。あなたの人生
に彼らが実際に現れる事を切望し、そして彼らが「人間的事柄」に関心があると思い込み
ました。こういった類の教えにあるような、ある法則に則って生きる事で、その聖なる存
在の機嫌を取り、あなたは遂にニルヴァーナを、永遠の命を手に入れる事ができる – と
いった思い込みです。

あなたがそういった幻想に耽る事を、わたしはあえて許しました。あなたが切望し、祈
り、与えられた指示に従っていくのを許したのです。さらには、その理想的な存在達を、
あなた自身が産み出したヴィジョンの通りの姿で垣間見せる事もありました。そのヴィジ
ョンがあなたの“マスター”であると思い込む事をも許したのです。

またあなたは、霊的な領域で、特定のパーソナリティの存在を感知できるという能力を持
った事があるかもしれません。あなたの願いに惹きつけられたその存在が、あなたのため
に“マスター”や“ガイド”としての役割を果たしてあげたいと望んだ事もあります。
これらの存在はあなたのマスターではない、という事実を、知るべき時が来たのです。

真の「聖なる存在」は、自身をマスター等と称する事はありません。

真のあなたであるわたし、わたしだけがあなたのマスターであるのです。そして、あなた
の兄弟姉妹の中にもわたしを見る時が来るのです。

**あなたに対して、自らがマスターであると言い渡す者、マスターと呼ばせる者は、人間存
在であれ、霊的存在であれ、唯のパーソナリティなのです。あなたが有するパーソナリ
ティと同じものです。所謂“真実”を語っても、“偉業”を成し遂げたとしても、彼らは決
して聖なる存在などではありません。**

その存在がいかに崇高な、神聖な存在に見えたとしても、あなたの人間的意識が自分以外
の存在をマスターと見なし、崇拜する限り、あなたはそのマスターという概念に手懐けら
れる事になるのです。

そうする事で、あなたが何らかの“特権”を得ていたとしても、それは必然的に訪れる幻
滅・目覚めを加速させるものでしかありません。その“マスター”が、例えあなたよりず
っと進化した存在であったとしても、やはり唯のパーソナリティであり、あなたの魂が真
に知りたいと切望している「聖なる存在」ではないと、間もなく知る事になるのです。

目に見える世界の奥にある実相をあなたに教えるため、それに繋がる概念の全てを、わ
たしは与えていきます。誰かに騙されたり、何らかの教えに対する信仰を失う時。人間は誰
も信頼できない、神の完全性をも信じる事ができないといった経験に、あなたが導かれる
時。それはあなたが、実相とその影とを、はっきりと見分ける事ができるようになるため

に起こる出来事なのです。また、わたしがあなたの存在に対し描いているそのアイデアの姿へと、あなたを導くために起こるべき出来事であるのです。

あなたのパーソナリティは、あなた自身の人間的思考が想像できる範囲内での「理想」に近づく事しかできません。わたしは、あなたを通してわたしの意思を顕現していきます。あなたを通して、多くの奇跡を行うのを望んでいるのです。

疑いの気持ちがあるのなら、あの「鍵」となる法則を思い出してください。

マスターという存在を想い、思考すると、マスターを現実にも生み出す事となる。

このマスターという概念は、あなたがマスターという存在に対し望み、想像する通りのものとなっていきます。

つまり、あなたの思考がその概念そのものを育て、あなたがマスターという存在に対し抱く性質・特徴が、それに伴っていくのです。あなたの人間的思考は、その願望、熱意、信仰心から、これらの特徴を伴った仮想の存在を作り出します。**それでも、その存在は只のパーソナリティであり、あなたはそこでインパーソナルな存在に出会うことはありません。**

このように、あなたの願望と思考力の強さに伴い、遅かれ早かれ、あらゆる概念が現実世界に顕現されていくのです。そのようなパーソナリティが、実際に肉体を持った人物として現れる事もあるし、霊的な領域におけるヴィジョンや、夢となって現れる事もあるかもしれません。

人間的思考が持つ性質のために、ある段階においてあなたは、マスターという存在が自分には必要であると考えます。人間的試練や問題が生じた際、それについて説明や、アドバイスをくれる存在。その存在に頼る事で、人生の問題が解決できると信じ込んでいるのです。わたしは、あなたの期待に応えられないような人物、あなたを騙す人物をあなたに引き合わせる事もあります。あなたが彼らに突き放される時 - 失望し、幻滅と屈辱を味わう時、遂にあなたは内在の真我、つまりはわたしに向かい合い、わたしの声を聞く事となるのです。高慢で、利己的な意識のままであったあなたは、わたしの声を聞く事ができなくなっていたのです。

人間であれ、霊的存在であれ、マスターと言うべき存在に出逢う事を願いながらも、未だその機会を得ていないというあなた。わたしの言葉が自分の中に存在し、真実へと導いている事が感じられないと言うあなた - わたしは、あなたのためにある経験を用意してあります。

あなたが、確実にわたしへと導かれる事になる経験です。あなたは、わたし(アイ・アム)こそがあなたの師である事を知ります。あなたが想い描き、熱望してきたマスターという概念の全てが、外から来たものであれ、内から来たものであれ、わたしについての霊的アイデアであったという事を知るのです。

「学ぶ用意ができたとき、師は現れる」と、あなたは聞いた事があるでしょう。これは真実であると言えますが、あなたが解釈した通りの意味ではないのです。

マスターに会いたい、師と呼べる存在が欲しいというあなたの密かな願いは、そのような人物をあなたに引き合わせる事になるでしょう。しかし、わたしがそれを許した時にこそ、それは起こるのです。そしてそういった人物は、あなたの真のマスター、真の師である存在の表面的な象徴にすぎないのです。真のマスター、真の師が現れる時、あなたは絶

対にそれを認識できないはずです。なぜなら、真の師という存在は、あなたの愉快的友達、仕事仲間、お隣さん、または自身の妻や夫、子どもといった存在の中に隠れているからです。

このような願望を乗り越え、最早マスターや師、わたしの存在を探し求める事を止め、それでも唯一人、永遠の存在と約束に対する信仰を持ち続けたあなた – わたしは、あなたの魂にとてつもない喜びと祝福をもたらす出会い、そして親交の機会を用意してあるのです。あなたの人間的意識では、とても想像できないような喜び、祝福となるものです。今のあなたには、こういった事はとても理解できないでしょう。ある種の謎のように感じているかもしれません。ここでわたしが話している内容と、わたしの他の啓示にある内容とが矛盾しているとあなたは言うかもしれませんが、それはそれでいいのです。恐れる事はありません – あなたがわたしの意味するところを心から知りたいと願えば、この謎は、必ず明らかにされるのです。

果たして、その時が来るまで、あなたは至高の存在には出会えないという事なのでしょうか？

人であれ、霊的存在であれ、あらゆる教師やガイド、マスターや天使といった存在は、完全性そのものであるわたしの部分的顕れに過ぎないのです。全知全能にして遍在するわたし、全存在の背後に在る霊的イデアそのものであるわたし – つまりはあなたの中の神へと、直接向かい合う事ができるというのに、なぜあなたは、そういった部分的存在たちを求めているのでしょうか。

わたしはあなたの中にいるし、あなたが求める人々の中にもいますが、そこにある全ての智慧、力、愛は、わたしから来るのです。それなら、なぜあなたは直接、わたしの元へ来ないのでしょうか。そうすれば、わたしはあなたを調べ、わたしの全てであるところを、あなたを通して表現できるというのに？

あなたは、人間的パーソナリティであると同時に神であり、完全なる存在なのです。あなたがそのパーソナリティであるという事は、簡単に分かるでしょう、しかしあなたが神であり、完全であるという事実は、とても信じる事ができません。

しかし、どれも真実なのです – そしてこの事こそが、謎であるのです。

あなたは、あなた自身が思うところの者であるのです。

あなたはパーソナリティに過ぎないのか、それとも神であるのか – もしくは、その両方であるのか？

あなたは、わたしとひとつの存在です。わたしは、あなたの中にいるのだから – つまり

わたしは、あなたの人間的パーソナリティの中に、身体の中に、意識と知性の中にも存在しているのです。あなたの身体的全細胞の中に、あなたの意識の全ての特徴の中に、知性が有する全ての能力の中に、わたしはいるのです。

わたし(アイ・アム)は魂そのものであり、全てのものを活動させる原理、本質なのです。あなたは、わたしの中にいます。あなたは、わたしの細胞のひとつであるのです。あなたはわたしの意識の特徴であり、わたしの知性が有する能力なのです。あなたはわたしの一部でありながら、わたしそのもの、わたし自身であるのです。これまでも、ずっとそうだったのです。

わたしがあなたにマスターという概念をもたらしたのは、わたしという存在のイデア、あ

あなたの真我、天使の光、神のエネルギー、あなたの中の神 – つまりは真のマスターにあなたが辿り着くための、その準備に過ぎなかったのです。

魂があなたに探し求めるよう促していた「マスター」とは、わたし(アイ・アム)、つまりあなたの神我なのです。そしてあなたがわたしを見つけた時、それ(アイ・アム)があなた自身であったと知った時、あなたの人間的意識は、喜んでわたしの愛弟子となるでしょう。わたしを待ち望み、わたしのために – つまりはあなた自身、そしてあなたの仲間達に、心から仕える事を望むようになるのです。そしてあなたは、”あなたがたの教師はただひとり、すなわち、キリスト意識である „ という時、その本当の意味を知るでしょう。

全ての人の中に存在するキリスト意識こそがわたしであり、そしてわたしは、全ての人の一なる存在、唯一の真我であるからです。

わたしがこれまであなたの元に導いてきた全ての人々を通し、わたしはあなたの人間的意識に触れ、わたしを認識させようとしてきました。わたしは、人々を通してだけではなく、その時々に必要なあらゆる方法をもって、常にあなたを導いています。あなたの意識に触れる方法はいくらでもあり、全てのものをわたしは利用していくのです。全ては、わたしの存在をあなたに悟らせるためのものなのです。

わたしは、多くの声を通して話します。全ての人々の感情を通して、また情熱や願望というものを通して。自然の中の音や、人間の経験、人間の知識そのものを通して話しているのです。

そうです、その全てがわたしの声であり、この真理を – わたし(アイ・アム)は全ての中に在り、わたし(アイ・アム)は全てであるという、この事実をあなたに伝えるため、全ての境界を超えたかたちで表現し続けているのです。

この声が、何千もの道を通して語りかけている事は、あなたもこの全ての一部であり、わたし(アイ・アム)はあなたの中に存在しているという事実です。そして、あなたがわたしという存在に気づき、このインパーソナルな「完全性」というアイデアを、共にこの地上で意識的に表現できるようになる事を、わたしが待ち望んでいるという事 – つまり、天国の顕れをあなたと共にこの地上にもたらししていくのを、わたしは待ち望んでいるという事なのです。

あなたがこの事を認識できた時、その時にこそ初めて、あなたは真のマスターに出会う事になるのです。その時にこそ初めて、なぜわたしが、つまりはインパーソナルな存在であるあなたの真我こそが、あなたの人間的パーソナリティにとっての唯一のマスターとなり得るのか、理解する事ができるでしょう。

また、なぜあなたの人間的意識・分離した意識状態では、真のマスターに会う事ができないのか、肉体を持ったマスターという存在にはなぜ会う事がないのか、その事についても理解できるはずです。あなたが、自身のキリスト意識に目覚めない限り – つまりは、あなたの中のわたしの意識に目覚め、彼らの中のわたしの意識を見出さない限り、あなたは彼らを、せいぜい「親切な友人」、「やさしい先生」といった存在としてしか見なせないのです。

あなたがこの意識に達した時にこそ、聖霊のグレート・ブラザーフッド であるあなたの仲間達と出会い、交流できるようになるのです。彼らは自身の小我を克服した存在達であり、そして地上の仲間達も同じように内在の神我を見つけられるように、その支援のため

だけに生きている存在達であるのです。

もし“神聖”な存在だと感じられる者があなたの人生に現れ、その者があなたに「自分こそがマスターである」と名乗ったり、あなたにそう思わせようとしたら、彼は未だインパーソナルな存在ではないのです。彼は所謂「マスターらしい」存在であるかもしれませんが、あなたの魂が求める、聖なる存在ではないのです。

そういった人物を自身のマスターとする事で、満足できる時期もあるかもしれません。それでもあなたは、彼の人間的不完全性と、インパーソナルな完全性とを事あるごとに目撃し、そこから気付きを得る事になるのです。そういった全てを捨て去り、わたしの存在、わたしのインパーソナリティこそが模範、理想である事を知るまで – 外の世界に探求し続けてきたものは、魂の奥深くにこそ存在していたのだと知り、遂に内側のわたしへと向かうまで、探求は続くのです。

第十六章 キリスト意識と愛

イエス・キリストという存在に信頼を寄せるあなた。わたしの言葉は、あなたの主であるイエスに対する信仰を破壊してしまうものであると、あなたは恐れているかもしれません。これから話す事を、よく聞いてください – 。

約二千年前、わたしのアイデアが神の現実・実相を表現すべき段階にあった時。その表現を行うと同時に、人間が地上で為すべき事を思い出させるために、特定のパーソナリティを通してわたしを表現する事、つまり、ある人物の中に神の性質を顕現させる事が必要であったのです。

わたしはその事を、ガリラヤのイエスを通して行いました。

人間的理解力に合わせて描写されたわたしの教えが、彼を通して当時の人々に与えられたのです。そして、神性のアイデアを完全に表現するため、わたしの生命が彼により顕現されたのです。

わたしがこの目的のために創造したイエスというパーソナリティ、そして彼の象徴的経験を通して、全てのパーソナリティが経験すべき事をあなたに示す事ができたのです。それは、わたしの人間的性質、つまり全てのパーソナリティを創造したわたしの性質が、再びこの神性を意識的に発現していけるように、インパーソナルな状態へと還るためであるのです。

わたしの人間的部分であるあなた達は皆、その人間的意識の中に神我(アイ・アム)を目覚めさせるため、聖なる愛によって、牛達が餌を食べに来るこの粗末な飼料桶の中に、生まれ変わらなければならないのです – つまりそれは、人の性質・動物的性質の両方を伴いながらも、神に対する信仰心と信頼に満ち、謙った心を表現するものなのです。それからあなたは、暗闇に覆われる国エジプト（それは人間の知的活動を表現するものです）へと連れられるでしょう。そこであなたの身体は育ち、そしてこの身体を用いて、

あなたは生き残るのです – わたしの存在を内側に感じる事ができるほどに強くなるまで。わたしの力と愛に十分意識的になった時、わたしはあなたを通して、この智慧と真実についてを語っていくでしょう。世の知識人、例え法を司る人物でさえも、その言葉によって困惑させられる事でしょう。それからあなたは、長い学びと瞑想の時期を迎えます。それにより、あなたの意識は成熟し、魂は進化し、内なる神我(アイ・アム)の意識が完全に熟する時が来ます。ヨルダン川で洗礼を受ける時が – つまり、あなたが完全にわたしに開かれる時が来たのです。あなたとわたしは完全にひとつであり、そこに分離というのは存在せず、実に、わたし(アイ・アム)はあなたの真我であるという事が、完全に意識できる時が来たのです。そこからは、神我(アイ・アム)こそがあなたの人生を完全に導いていく事になるのです。

あなたは、この世界、つまりあの啓示書に描かれる“荒野”にありながらも、わたしに導かれていく事になります。わたしの神性をインパーソナルな私たちで使っていく事ができるよう、あなたを強くし、調えるため、わたしはあなたに力、(自分こそが義であるとする)傲慢、富についての三つの誘惑、試練を与えるのです。人間的知性や小我、また外の世界に由縁するどんなものをも、内なるわたしの存在を忘れさせる事はできないという事。そして、わたしの声 – それは自分の心に聞こえる事もあり、周りの人々を通して伝えられる事もありますが – これこそが、あなたが真の意味で聞く事ができるものであると分かるまで、それは続くのです。

その後あなたは奇跡を行い、聴衆に教えを与えながら、同時に、不信心で嘲笑に溢れたこの世から罵倒され、迫害を受ける時を迎えます。磔刑を宣告され、十字架を背負いゴルゴダの丘を登り、磔にされ、苦痛を受けます – そして三日間墓の中で過ごした後、復活の時を迎えるのです。それはつまり、わたしと完全に一体となる時です。

これらの出来事全てに、潜在的な意味、つまり魂に照らし合わせて捉えるべき意味があり、そしてあなたがわたしに心を開いていれば、それらの意味がもう理解できているはずなのです。

その啓示に示されたわたしの教えを学び、聞き従った全ての者はこれまで、そのように歩んできました。そして今、あなたと多くの者達が、新たな摂理を受けるべく調えられました。つまりインパーソナルな方法によって、あなたがわたしの意識に直接、瞬時に入る、わたしの意識と結ばれるという事です。人間的パーソナリティ、小我から来る怨言の全てを振り切れる程に強く、大きな意識を持つ事ができた者。自身は神我(アイ・アム)であると明言できる者、そして自身の中の神こそが、その強さを与えし存在であるとする者、外界からの誘惑や影響を超越できる者 – そのような者こそ、わたしの神性による驚くべき栄光の数々を表現するため、わたしが選んだ存在なのです。

キリスト存在 – 神我(アイ・アム)意識は、あなたの心の中に、そして全ての人の心の中に生まれ、そこに力強く育たなければなりません。神性のアイデアの意識的表現者となるため、イエスの生涯に象徴される数々の経験を経なければなりません。イエスの生涯を通してわたしが顕したキリストの愛、慈悲心というものは、あなたがこの愛を自身で経験するまで、あなた自身の生の中である程度表現されるべきなのです。この愛というものは、真の意味では聖なる三位一体に他なりません – つまり愛、智慧、力の三位一体、わたしの境界を超えた生命、インパーソナル・ライフが、真に表現されたものです。

今まであなたは、境界を超えた生命 - インパーソナル・ライフというものが、何を意味するのか知り得ませんでした。無論、境界を超えた全なる愛、無我愛の意味など、分かるはずがなかったのです。

これまでのあなたにとっての愛という概念、感覚を注意深く分析してみると、どれも人間的な感情や表現であったはずです。これまでは、何らかの人間的、個人的関心や利益が絡んでいる“愛”以外、考え付かなかったかもしれません。今、心の中にわたしの存在を感じ始めたあなた。わたしの存在を受け入れるため、心を大きく開いているあなた。わたしはあなたに、この驚くべき感覚 - これまであなたが感じた事のない、素晴らしい感覚を与えます。この感覚は、あなたの全ての性質、創造的才能を賦活し、あなたにとって“万能の靈薬”となるものなのです。この感覚があなたを通して外界へと溢れ出す時、あなたは全なる愛の言いようの無い優しさを味わい、そしてあなたの意識は、この絶対的な力による目覚めを経験するのです。それによってあなたは、無我愛を表現できる存在、個を超え神性のアイデアを表現していく、完璧な媒体となるのです。

あなたはわたしの一部であり、他の存在全てとひとつであるという事。

そしてあなたが所有するもの、あなたであるところのものは全て、実はあなただけのものではなく、真のあなたであるわたしのものであり、わたしがその全ての用途を導いていくものであるという事を、あなたは遂に理解するでしょう。

あなたの人生は、最早あなたの小我を中心としたものではなくなります。あなたは無我の心で他の存在達と交わり、あなたの生命、思いやり、強さ、誠実さ - つまりはわたしのインパーソナル・ライフ、この無我愛の表現を、自由に分かち合っていくのです。その全ては、分け合っていくためにあなたに与えられたのです。

キリスト存在、イエスの人格の中に、わたしはこの無我の愛を顕し、彼の人生・人格をあなたが手本としていけるよう、その靈感を受ける事ができるようにしたのです。この求道、成長の道をたどる事により、あなたが自分自身の中にあるキリスト意識に目覚めるようにと、導いてきたのです。

キリスト意識というものは、内在のわたしに繋がる道、扉に他ならないという事を真に理解した時、あなたは、わたしのインパーソナル・ライフと意識的にひとつになる事、そこに歩み入る段階へと導かれるでしょう。

はっきり言いましょう。この無我の愛というものは、あなたの個人的生き方、個人的情愛等とは、何の関係もありません。これらのものは、人の心を通し、わたしの真の愛というものを世界に満たしていくための、外界における表現媒体に過ぎません。永遠に全ての存在を受け入れ、全てのものに生命力、創造力、幸福感を与えていく、無我愛の媒体なのです。

わたしの愛は、個人的な事やパーソナリティについて、気にかけないものなのです。それらは、人生というチェスボードの上のポーンのようなもので、わたしの目的に適うように、つまりは神性のアイデアを人という存在を通して表現するという目的のために、わたしが用いていくものなのです。わたしの神性のアイデアを、完全なかたちで人の中に表現するという目的のためです。

あなたという存在のアイデアが、あなたのパーソナリティを通してしか表現されないのと同

じように、人という存在を通してのみ、わたしのアイデアは表現され得るのです。

人を通してわたしは生き、活動し、存在しているのです。あなたという存在が、あなたのパーソナリティと身体を用いて表現されているように、不死・無限であるわたしの存在が、人の有限的パーソナリティと身体を通し現れているのです。

各個人のパーソナリティとその身体は、わたしの“人という実体”の細胞であるのです。あなたの神我(アイ・アム)がその身体を形成し、それを通してあなたというアイデア、真我を表現できているように、わたし自身のアイデアを完全なかたちで表現できるよう、わたしは人類という存在を、少しずつ創造しているのです。

人類全体を構成する各細胞がそうであるように、あなたの身体の各細胞もわたしの生命を受け取る事で、全なる、調和の取れた器官となり、健康で幸せな生活を送る事ができるのです。しかしながら、細胞の一部でもそのあるべき状態に反している場合、その器官が調和の取れた働きをしていくのは不可能であり、当然ながら身体全体に影響を与え、結果、病の元となってしまうのです。

細胞の一つひとつが、器官全体にとって欠く事のできないものです。器官が完璧なかたちで機能し、身体全体が完全な健康を保つため、各々の細胞の働きが不可欠なものであるのです。よって、身体全体が健康になるために、各細胞がわたしから得たその力を、その知性を全て明け渡す事が無ければ、身体全体の調和が乱れ、結果として病や苦痛、罪深い行為、抑圧状態、貧困、また理解の欠如や分裂状態、そして死に至ってしまうのです。

同じく各器官も、わたしが授けたその力と知性の全てを、身体全体の健康とその表現のために明け渡さない限り、分裂や混乱状態、反乱、そして戦争 – つまり、器官の関係やその細胞間に不調和が生じ、多かれ少なかれ身体全体の無秩序状態を引き起こしていくのです。

人類という“身体”にとって、これは国と国との間の戦争となって現れるでしょう。国々とは正に、わたしの身体の器官であるのですから。戦争というものは全て、重い病、不調和状態なのです。そしてわたしの生命、つまり、人類の中に現される全なる愛(インパーソナル・ラブ)は、調和の中でしか表現され得ないのです。また全なる愛は、人間の肉体を通して表現を行うため、常に肉体を用い、そのバランスを取り、状態を調えているのです。

それは、その器官から病や弱った細胞を徐々に取り除いていく事もあり、また発熱や浮腫、吹き出物、悪血、虚弱状態などの容態に発展させる事もあります。それにより何十億もの弱った細胞を素早く除く事ができ、その悪い器官は浄化され治癒する事もあり、またその本来の機能が完全に失われる事もあります。

言い換えると、各々の細胞、器官の本来の命とは、身体全体が完全なる調和の中で存在し、その表現を行うために、個の生を捧げ尽くすという事なのです。

各々の細胞、器官がそれ以上の目的を持たず、純真・無私の状態、この全なる愛が自由に流れ行く事を許す時、“わたしの身体”も完璧な調和の中、全として存在できるでしょう。その時こそわたしのアイデアは、天の御国で行なわれているのと同じように、地上でその神性の力、叡智を表現していけるのです。

あなたが、この完全なる愛の表現以外の目的を持たず、全なる愛を自身に受け入れられるようわたしに全てを明け渡せば、わたしはあなたを通し、周りにいる人々に対しても、わたしの存在 – つまり彼ら自身の中に在るキリスト意識を認識できるよう、そして彼らの小我をわたしに明け渡す事ができるように、その覚醒へと導いていく事ができるのです。

あなたと周囲の人々で構成されるその“器官”、言わばそのわたしの身体の部位は、完全なる健康と調和を得る事になり、かくして身体全体に完全なる健康をもたらし、それを維持していく事に繋がっていくのです。

その時が来れば、わたしの神性、その力、全なる愛が人類全体を通して流れ、そこに顕現するでしょう。わたしのアイデアは、天の御国と同じようにここ地上においても、完全なるかたちで表現されていくのです。地球、そしてそこにある全ての身体、物体は全て、それまでのような粗雑な物質体であり続けるのを止めます。全ては純化され、その我執から完全に浄化され、以前いた場所へと帰昇するのです。わたしのアイデアを外界における生命体として顕現し、人間という存在を表現していくというその目的は、全て達成されるでしょう – そして、それまでの表現に必要とされた物質、外界における媒体はその役目を全うし、その時からわたしは意識体のみを創造し、表現していく事となります。地上が天の御国となる全なる生命(インパーソナル・ライフ)の世界においては、意識存在の媒体のみが必要であるからです。

十七章 わたし(神我)に会うために

ここまで、わたしの伝える事を注意深く読み進めてきたあなた。わたしの存在を垣間見た気がするけど、まだ確信がないというあなた。もっと近くに来て、その魂をもって、これから伝える事を聞いて欲しいのです。

静まって、わたしこそ神であることを知れ。

もしあなたが「静まる」事をもう学んだのなら。あなたの中にいる神、この「わたし」について観察し、それについて瞑想し、その存在と小我(パーソナリティ)の「わたし」の違いを識別できたのなら。時には“パーソナリティの外”に出て、人間である自分自身 – その取るに足らない欠点、弱点、根底にある身勝手さ、肉欲や欲望の数々、子どもじみた要求や愚かなプライド、虚栄心などを、ありのままに眺める事ができたなら。

この事を行い、それらを徹見する事ができたなら、その時あなたは実に、意識においてわたしと共にいたという事を知ってください。わたしの目で現実をありのまま観察する事を可能にしていたその存在こそ、あなたの真我(リアル・セルフ)であったからです。

その瞬間、あなたは自身のパーソナリティから自由になっていたのであり、わたしの意識の中に – 宇宙的、普遍的、霊的(スピリチュアル)な、つまりインパーソナルな意識の中に存在していたのです。わたしの目、インパーソナルな目をもってしか、あなたはその事を観察できないからです。

また、何か特定の事をしたいという強い情熱、衝動を覚えた時を思い出してみてください。それを実際に行動に移し、満足のいく結果を得た事もあったでしょう。またその情熱に対し、知性の部分が理屈をつけ反発したため、何も行動に移さないまま失望し、その結果苦しんだという事もあったはずです。

この情熱、衝動を与え、何をすべきかを教え導いてきた意識こそが、あなたの真我、つまり、あなたの中に存在するわたしであったのです。あなたはその時、霊的な耳、つまり

はわたしの耳をもってその声を聞いていたのであり、あなたが自分の小我を超えてその導きに従った時、成功し、満足感を得られたのです。しかしながらパーソナリティの部分で、自分(小我)のほうに物事について良く知っていると判断した場合、挫折し、その結果、後悔の念と不満足感が残ったはずです。

またあなたが、近々起こるべき出来事を感じ取ったり、ある人に偶然会うのを予測できたり、人と接している時に何か悪い感じがしたり…という事もあったでしょう。

それはあなたの真我 - あなたの霊的な部分、インパーソナルな身体が物事を感じ取っているという事であり、その意識は外界の物事、条件や出来事からあなたを守るため、忠告し、導いているものなのです。

無我の愛があなたの心を満たし、誰かを助けてあげたいという強い、衝動的な気持ちが顕れた時こそが、わたしを感知するのに最適で、確実な時です。彼らの病を癒したいという気持ち、苦しみから解放してあげたい、幸せを届けたいという気持ち、真の道について話してあげたいという気持ち - それは実に、あなたがパーソナリティを超えて、あなたの中のわたしを感じ取っている時であり、そして正にそれこそが、あなたの心身を創造したわたしの目的であるのです。わたしの本質、真の愛、キリストを表現する道。皆を元気付け、目を覚まさせ、生命を与えそれを強くし、癒し、全てを与え、全てを知らせるという普遍の力を表現する存在を、わたしは創造したのです。

常にあなたに語りかけ、導き、人生の全ての領域においてあなたを助けたいと - そうです、どんな些細な事についてもあなたを助けたいと願っているのがこのわたしであるという事を、あなたの霊的身体、あなたの全なる身体に認識させるため、これまでの事を指摘しました。

あなたがただわたしに頼る事ができれば、そしてあなたが一瞬一瞬感じ取っている印象を注意深く観察し、それを信頼する事を学べたなら。そしてわたしを待ち望み、わたしの中に安らぎ、わたしに全き信頼を寄せる事ができたなら。実にわたしは、全ての道において、あなたを導いていきます。あなたが抱える全ての問題をわたしが解決し、あなたの仕事を易しくしましょう。そしてあなたは、命の水の流れる、緑の草原に導かれるのです。ああ、わたしの子よ。外の世界で、価値の無い知識、人間的な教えばかりを求め無駄にして来た時間と労力、その十分の一だけでもわたしを見出すために使えたなら。それを決意し、内なるわたしに真摯に向き合うならば。

あなたの中にいるわたしの存在を觀じ、知るために、一日のうち一時間だけでもわたしに捧げてくれるなら。

ここに約束しましょう、そうすればあなたは間もなく、本当にすぐ、わたしの存在を見出す事ができるでしょう。そしてわたしはただ、あなたの人間的意識では到達する事のない智慧、そして強さ、助けを与える、無尽の泉となるのです。

実にあなたがこのように、人生においてわたしを第一に考え、わたしを探し求めるなら。あなたはそう遠く無いうちに、わたしの存在を知る事になります - 常に心の奥底からあなたに呼びかけている、わたしの愛の声に、意識的になる事ができるのです。

あなたは、わたしと深い交わりの時を持てるという事が分かるでしょう。わたしの意識の中に安らげる事を知り、わたしの言葉があなたの中に生きるのです。あなたが望む事は何でも、奇跡のような方法で叶うという事を知るでしょう。

わたしの中に絶えず留るというのは、最初は難しく感じるかもしれませんが。あなたの意識にはまだ、肉体からの感覚や、否定的な“悪魔の声”の痕跡があるからです。それでもあ

あなたは、わたしの全なる目を通して観察する事に慣れ、間もなく物事の実相が見えるようになり、然るに、この地球で神々と呼ばれている存在達の実相をも認識するようになるでしょう。それからあなたは、まるで新しい、驚くべき世界にいる事に気付くのです。そこにいる人々は皆天使的存在であり、彼らの肉体と人間的個性(パーソナリティ)を“乗り物”、“道具”、または“衣服”として利用しているのであると。そしてそれは、この地上での条件・環境と接触し、自らの創造を経験していくためのものであると。更にそれが、わたしの地上でのアイデアを完全に表現していくため、各々の魂を進化させていくためのものであると。

その時、あなたはいかなる幻影、悪事、ましてや悪魔的存在等を目撃する事はなくなるのです – なぜなら、全ては光、愛であり、自由、幸福、平和であるからです。あなたは、全ての中にわたしを見出す事となるのです。それぞれの存在はわたしの性質を有しており、わたしの側面を命として現しています。あなたはただ、わたしの愛を自身のところを通して輝かせるだけでいいのです、その光は、あなたが見る全てのものの真の意味を明らかにしていきます。

そしてあなたは神の国を見つけた事を知り、その覚醒に至るのです。あなたは、正にこの地上にしながら神の国で歩を進めているのであり、神の国の全てがあなたの周りに顕現しているのであると。そしてこれまでもずっと、あなたは、知らずにそこに生きてきたのであるという事に気付くのです。

あなた自身の中に、全ての存在の中に、その深奥の部分に神の国は存在していたのであり、そこに至るには、どこか遠い場所に行く必要などなかったのです。

つまりは、全ての存在の実相こそが神の国であり、外の世界に現れている姿はその影であるという事。人間の思い違いや誤解、わたしと分離しているという信念によって、それらの影が作られているという事。

神の国を見出す事ができれば、あなたはそこに自分の居場所をも見つける事ができるでしょう。あなたは、真にわたしの神性と一体であった事を理解し、あなたの成すべき事は全て初めから用意されていたという事、そしてまた、あなたがこれまで為してきた事は全て、あなたの人間的個性(パーソナリティ)をこの役目のために育て、調えるためであったという事が、分かるようになるでしょう。

あなたの魂は長い彷徨の末、遂にわたし達の故郷に帰ってきた事を、そして他の目覚めた存在達と共に、この真の生命(リアル・ライフ)に歩み入る時が来た事を知るのです。わたしの意識とひとつになり、この地上での神性のアイデアの完全な、究極の表現を行う時が来た事を知り、魂は喜びに満たされるのです。

ここまでこの文章を読み進め、喜びの記憶が呼び起こされたというあなた、魂のレベルでこの文章に呼応したというあなた。わたしが伝えたい事の全てを受け取るまで、この言葉から離れないでください – 静まって、あなたの内にあるわたしの声を聞くのです。そこにあなたを待つ光を知りなさい – あなたが全なる目で観る事、全なる理解を持って耳を傾ける事ができるように。

ここまで読み進める事で、内に在るわたしの実相を初めて感じたというあなた。わたしの存在と、神の国というものについて幾らかの気付きを得られたというあなた。その気付きに伴う、この高みから来る波動は、一時的なものであっても、あなたを靈的法悦の状態へと導いた事でしょう。あなたは常にこの意識状態の中に在ろうと、いつでもわたしに聞き従っていこうと決意したのです – それでも、例えその後、その決意について試されるよ

うな事があったとしても、例えあなたがそれに屈してしまったとしても、決して落胆しないでください。

わたしを信頼し、わたしの存在に安らげるようになるには、どういった事が足りなかったのか、どのような強さが必要であったのか。あなた自身のその努力によって、そして失敗や躓きによって一途に自覚していく事でしか、あなたの中にわたしの力が開花する術はないのです。その力は、あなたを通して顕現されるのを待ちわびています。

この高みからの波動は、魂のある特定の性質を呼び起こし、その対応する能力を実際に働かせるためのものです。あなたを通してわたしの力を顕現していくため、この事が必要なのです。

これらの魂の性質が新しく目覚めた時、それまであなたの中に取付いてきた反対の性質が反発して来ますが、あなたはその反応を克服し、それらの性質を服従させなければなりません。魂の表現を自由に行っていくためには、それらの性質をも高みに引き上げ、真の奉仕に役立てていかなければならないのです。

それら既存の性質は、あなたの魂の特質を完全なかたちで表現していく上での試みとなります。わたしの神性をあなたの内側から顕現していくために、あなたは、外界から来る如何なる攻撃に対しても耐えうる力を持たなければならぬからです。

この事を覚えていてください - わたしは、あなたが耐えうるかたちで、あなたの強さに応じた速度で、この力をあなたに顕現していくのです。

自分自身の力をもって進化していこう、という考えで努力する事が、あなたが陥りやすい間違いであるのです。

わたしは、あなたの中に在る生命の木です。わたしの生命は、あなたの中から顕現する事になっており、それは必然の事なのです。そしてそれは一步一步、確実な進化として成されるもののなのです。

十分な成長を遂げるまで、その実が結実する事はありません。覚えておいてください、わたしの生命は常に、無論今も、あなたの中にこの完全なる健康、強さ、美しさを育み続けていて、やがてそれは、外界に向かって表現されていかなければならないのです。

わたしの存在(アイ・アム)が自分自身の中に在るという事を理解し始めたけれど、未だわたしとの親交が経験できないというあなた。これから話す事をよく聞き、学んでほしいのです。

あなたは“静まる”事を学びました。その時、わたしの存在を自身の中に少しでも感じられたのではないのでしょうか。もしそうなら、わたし(アイ・アム)がそこに居る事を認識し、何か尋ねてみてほしいのです。それから沈黙の中、わたしからの応えを待ってください。応えについて不安がったり、心配する事なく、また小我的(パーソナル)な関心を持ちすぎないように。心をオープンにし、確信を持って、わたしから来る印象、気付きを待ってみてください。

心に浮かんだ事が、あなたがどこかで聞いたり、読んだりした内容だと気付いたら、すぐにそれを退け、このように言うてみてください。「それは応えではありません。父よ、あなたの応えは何ですか？」。

他の人からの考え等が心に浮かぶ事があるかもしれませんが、それでも、あなたが十分に気をつけていれば、それらがわたしからの応えでないと認識し、それを退ける事ができるはずです。このように熱心に尋ね続けていれば、最後には、実にこれがわたしからの応えであると感じるものを、受け取れるはずです。

そしてそれは、始まりに過ぎません。様々な声の中からわたしの声を識別できるようになり、小我的(パーソナル)な関心ごとをきちんと制御する事ができたなら、遂にあなたは、他人の考えや信念、意見等から邪魔される事なく、あなた自身の意思によって、わたしとの平和な交流を持つ事が可能となるでしょう。どんな質問をしてもいいのです。また、何らかの助けを必要としているあなた以外の方が、あなたに質問するのもいいでしょう。その時、あなたの心の中に、もしくはあなたの声を通して直接、わたしがあなたに話すべき事を与えていくでしょう。

わたしのために、自分自身を明け渡してくれたあなた。わたしの愛する者よ。わたしとひとつになるために、どんな努力も厭わないあなた。それ故に、この世における人々からの助けを失い、財産も、友人も無く、もう誰に助けを求めればいいのか分からないというあなた。

祝福された者よ、よく聞きなさい。あなたはもうすぐ其処まで来ています。わたしの中に留まり続ける事ができるなら、わたしの言葉と共に生き、その導きを求め、わたしの約束の中に安らぎ、それに完全なる信頼を置く事ができれば、もう間も無くあなたは、喜びと平和に心満たされ、その境地は人間の言葉、思考ではとても表現できないものとなるでしょう。

あなたはわたしの意に聞き従い、わたしを信頼し、わたしの国とその義とを第一に求めました。だからわたしは、例えこの世があなたを拒絶し全てを奪い去ろうとも、全てのものを増し加え、あなたに与えます。

わたしの愛する者よ。自分自身をわたしのために明け渡したけれども、未だこの世の仕来(しきた)りや慣(なら)わしに幾らか囚われていて、執着を手放せず、完全にはわたしを信頼できていないというあなた。

そんなあなたに、わたしは幾らかの挫折や不足、時には貧困状態までをも許しました。それは、あなたがこの世の偽の価値、それらの非永続性、はかなさを見抜けるようにするためであり、それらの物に幸せをもたらす力はないという事を気付かせるためであったのです。これらのものは全て、わたしの真の生命とは無関係であるのです。

愛する子よ。毎日の食物、来週の家賃、支払えない借金について、心が不安と恐れで満たされていると言うわたしの子よ。未だ分からないのですか。

ずっと昔にわたしが与えた「山上の垂訓」にある言葉を、今一度あなたに伝えましょう。

「それだから、あなたがたに言うておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取り入れることもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養っていて下さる。あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者ではないか。あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言うて思いわずらうな。こ

これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦労は、その日一日だけで十分である。」

これより明らかな命(めい)が、これより確かな約束が必要でしょうか？わたしに自身を明け渡したあなた、わたしの聖使徒であると自覚するあなた。

よく聞きなさい。

わたしはこれまでずっと、あなたに全て与えてきたではないですか。あなたに必要な時、いつでも最も良い時にわたしは現れ、あなたを助けてきたではないですか。世界が暗く見えた時、わたしはいつでも光をもたらして来たでしょう。

人生を振り返ってみて、もっと良い状態が望めたと思う場面がありますか？あなたが得た霊的理解、スピリチュアルな智慧と、この世の物質的所有とを引き換えにできるとは、とても思えない事でしょう。

わたしの子よ。お金や住まい、衣服、食物などは全て、付随的なものである事が分からないのですか。それらは、あなたの真の生命に何の関係もありません。あなた自身がそれらの物事を重要であると考え、わたしの存在をその脇にやってしまう事で、それらを現実のものとしてしまっているだけなのです。

もしも、この世で生きて行くのに必要なものが欠乏するという経験があれば、それはただ、あなたが真実を学ぶために起こっている事なのです。つまり、わたしの存在(アイ・アム)こそが、わたしの存在(アイ・アム)だけが、あなたの人生において重要であるという事。わたしを本当に愛するならば、わたしをまず第一に考えるべきであり、かくしてあなたは真の、永続的な幸福や成功が得られるという事を。

わたしの愛する子よ、この事はあなたにもあてはまる事なのです。健康を失ってしまったあなた、外側の世界で医者や治療法を求め、その指示、提案に従ってきたあなた。勇気を失い、真の自分を失ってしまったあなた。遂に、内側に存在するわたしに依り頼む事を選んだあなた。

我が子よ、覚えていなさい。あなたもまた、完全に自分自身をわたしに明け渡す必要があるのです。わたしこそが、あなたを癒す事のできる唯一の医者であるのです。わたし(アイ・アム)は、あなたの中の全能の生命であるからです。わたしがあなたの健康であり、あなたの強さであり、生命力であるのです。これらの全てがわたしである事を知り、自分自身の中にわたしの存在を感じるまでは、真の、永遠の健康を得られる事はないのです。さあ、わたしの子よ。もっと近くに来なさい。健康、成功、幸福、平和、神との合一(ユニオン) – これらの全てを手に入れる術を、わたし(アイ・アム)が今教えましょう。これから話す言葉に、最大の秘密が隠されているのです。これを知るあなたに、祝福あれ。

静まって、わたし(アイ・アム)こそ神であることを知れ。

わたしがあなたの中にいる事を知りなさい。わたしはあなたなのです。わたしがあなたの生命である事を知りなさい。全ての智慧、愛、力はこの生命の中に在る事を知るのです。それは実に今、あなたの存在全体を通し、惜しみなく自由に流れ続けているのです。わたしこそが、全ての存在の中のその生命、知性、力であるのです – あなたの細胞のひ

とつひとつに、それは存在するのです。鉱物の細胞の中に、植物、動物の細胞の中に、それは存在するのです。火の中に、水の中に、空気の中に。太陽の中に、星の中に。わたし（アイ・アム）はあなたの中に、そして彼らの中に在るもの。彼らの意識はあなたの意識とひとつであり、そして全てはわたしの意識なのです。彼らの中に在るわたしの意識によって、彼らの持っているもの、彼らであるところのものは、全てあなたのものなのです – あなたがそれを求めるならば。

わたしの名によって、彼らに話すのです。

わたしとひとつであるあなたの意識をもって語るのです。

あなたの中にあるわたしの力、わたしの知性をもって語るのです。

語るのです – あなたが求めるところを、この意識をもって命ずるのです – 宇宙は、すぐにあなたに従って働きます。

さあ、立ち上がりなさい！ ああ、わたしと一体となる事を切に願う者よ、神性という遺産を今、受け入れるのです。あなたの魂を、心を、身体を大きく開く時です。そしてわたしの生命の息吹をもって呼吸する時なのです。

わたしの聖なる力が、あなたの存在をあふれるほどに満たしている事を知りなさい。あなたの身体の全ての繊維、神経、細胞、原子は、正に今、意識的にわたしと生きているのです。わたしの健康、わたしの強さ、わたしの知性、わたしの存在と共に生きているのです。

なぜなら、わたしはあなたの中にいるのだから。わたし達は離ればなれではないのです、分離できるはずがないのです。わたし（アイ・アム）は、あなたなのです。わたし（アイ・アム）はあなたの真我、あなたの真の生命。わたしは、わたし自身とこの力の全てを、正に今、あなたの中に顕しているのです。

さあ起きなさい！ 立ち上がり、自身の主となるのです。

あなた自身を知りなさい、あなたの力を知りなさい。わたしが持てるもの全てが、あなたのものである事を知りなさい。全てを可能にするわたしの生命が、あなたの中に流れているという事。あなたの望むところを、この生命をもって築き上げていけるという事。この生命は、健康、力、成功、幸福、平和、神との合一 – あなたがわたしに望む事の全てを、顕現させていくのです。

この事について思い巡らしなさい、この事について思考するのです。この事を知るのです。そして、あなたの中に備わっているその肯定感と確信をもって、創造の言葉を語っていくのです。それは必ず実を結ぶ事となります。

愛する者よ、この事を覚えていなさい。あなたが完全にわたしに身を委ねるまで、完全に自分自身を明け渡すまで – つまり自分という実体、“自分の問題”、“自分の人生”をわたしに任せてしまうまでは、この事が現実とならないのです。全ての心配事、全ての責任をわたしに明け渡すのです。わたしを完全に信頼し、わたしの中に安らぐのです。

あなたがそうする時、この言葉ははたらき始め、あなたの魂に眠っているわたしの力、神性の力が、実際の覚醒に向けて動き出すのです。あなたは自分の中に全能の力がある事に気付きます。そしてこの力は、あなたがわたしの中に留まり、わたしの言葉を自分の中に留めておく事ができれば、あなたをこの「幻想の世界」から完全に解放する事となります。あなたの霊を目覚めさせ、あなたの行先から全ての困難を取り除き、あなたが望む全てのものを与えていく力です。様々な問題、労苦は、永久にあなたから取り除かれます。

あなたは、わたしこそが神、つまりは真のあなたこそが神であるという事を知り、常に全てを与え、行先を導いている存在であった事を知るのです。そして、あなたから一切の疑い、不安は消え去り、遂にこの探求は終わるのです - あなたはわたしとひとつであったと、遂に悟るのです。

十八章 一つになる事(ユニオン)

このように、自身をわたしに明け渡したいと心から願うあなた。わたしがあなたを通して、この全なるアイデアを表現していけるように、自分の生命を完全にわたしに捧げ、小我による個人的考え、望みや目的についての執着を手放したいと望むあなた。これから話す事を、よく聞いて欲しいのです。

実に今この時まで、わたしはあなたが経験する全ての物事を通し、行先を導いてきました。

もしあなたが今、心からわたしに仕えたいと望み、その用意ができているのならば。あなた一人では何かを知る事も、成す事も不可能であり、“あなたの知性”、“あなたの力”、“あなたの実体”というのは全て、実にわたし(アイ・アム)のものであるという事を、もう十分に学んだというのならば。

あなたの思う事は全てわたしが導いているという事、あなたが成す事は全てわたしに起因しており、わたしがそれらの全てを可能にしているという事を、遂に理解できたのなら - あなたは、わたしの言葉の意義、重要性を把握し、それに従う準備ができているはずです。

わたしはこの事をあなたに教えるためだけに、これまであなたに様々な経験をもたらして来たのです。そしてあなたの準備が整い、条件に適う状態となったなら、今あなたは意識的にわたしと働く事となったのです。あなたは、全てがわたしの意味するところ、その驚くべき表現の中に存在している事を知りながら、喜びに満ち溢れ、静かに、新しい経験を待ち望むのです。わたしは、その全ての意味を明らかにしていきます。そしてわたしとの愛溢れる、親密な交わりをあなたにもたらしていくのです。

このように、全ての経験は決して障害や試練、前業やカルマの結果などではなく、究極的には、祝福であるのです。その一つひとつが、わたしの実相、その輝けるヴィジョン - つまりはあなた自身の真実、驚くべきあなたの実相というものを、明らかにしていくものであるのです。しかしそれは、あなたの古い欲望に対する偏向を手放し、わたしの願い、わたしの望むところを求行くようになるまでは、実現し得ないのです。

この新しい意識は、物事を新たなかたちで顕現していくでしょう。あなたの日々の活動においても、あなたの目の前に現れる仕事は何であれ、そしてそれがどのような類いの役割であったとしても、それがわたしの望むところのものである事を知りながら、成し遂げていけるのです。あなたの日々の行動においても、そのインパーソナルな意識によってわたしの望むところを努力していく事で、わたしの意思はより迅速に成されていくのです。あなたのビジネス、仕事の場においてさえ、あなたはわたしを見つける事になるでしょ

う。実に、その仕事がどのような類いのものであっても、それをあなたに与えたのは、わたしに他なりません。その仕事においてあなたが成功・失敗したり、また子孫に財産を残したり、逆に全てを失ったり…といった事が重要なものではありません。そういった事ではなく、その成功や失敗、野心、能力などといったものを通して、わたしがあなたの覚醒を、つまりあなたの中に眠る、そのインパーソナルな意識への目覚めを促進していく事が重要なのです。あなたが成す事の全てにおいて、わたしが靈感を与え、導いています。あなたが意識的に真の成功というものを経験し、わたしが与えていく真の富、財産を得ていく事が望まれているのです。

そしてあなたは、自分のビジネス、労働、生活条件などの全てが、あくまで付随的なもの、外界における乗り物のようなものであり、それもわたしが選択し、あなたを目覚めに導く上で最適だと思われるその特定の経験に導いているという事なのです。それと同時に、あなたの魂のその不完全な表現を、本来の性質に向けて磨いていく事も目的なのです。

あなたがわたしを知る事さえできれば、心の中に棲まうわたしに気付く事さえできれば。あなたの仕事場、お店、作業場、それがどこであったとしても、わたしはあなたと共に居るのだから。あなたの日々の仕事をも、わたしが導いていく事を許してくれたなら — 誠にあなたに告げます、あなたがわたしに信頼して任せる時、あなた自身の中に新しい力がある事に気付くでしょう。あなたの内側から優しく流れ出る真の友愛、真に共鳴する心、出会うもの全てに対する心からの好意。その力は、出会うもの皆に対し、仕事や人生についてのより高い道念を目覚めさせ、更には彼ら自身も、その周りの環境に対し、そのような光を与えていきたいと願うようになるのです。その力はまた、更なるビジネスや財産、友人、全ての豊かさをあなたにもたらす事でしょう。そしてその力は、あなたを最上の思考・思想の領域に結びつけるため、あなたはわたしの全なる(インパーソナル)力をよりはっきりと感知し、人生のどの瞬間においてもそれを意識的に表現、顕現していく事ができるのです。

あなたは最早、教会や、いかなる宗教的集いにも参加したいとは思わなくなり、それどころか、わたしからの啓示を読みたいとも思わなくなるでしょう。わたしに会い、祈り、賛美する上で、そのような物事が必要であると思わなくなるのです。

その代り、あなたはいつでも自分の内側に向き合い、そこでわたしに会う事ができるのです — あなたはわたしと交わり、わたしに仕え、いつでもその喜びに満たされる事でしょう。わたしの声に聞き従いながら、わたしの愛の暖かさ、そこから来る魂の震えを感じ、それがあなたを包み、あなたの道を整え、どこに行くにも何を為すにも、その条件を易しくしていく時 — それ以外に、あなたに必要なものは何も無い事を知るのです。実にこの状態にある事こそが祈りであり、賛美であるのです。

あなたは、其処がどこであったとしても、わたしが導くその場所に集う人々を感化し、元気づけていく事となります。あなたを通してわたしの祝福を受けるべき人々 — つまりは、あなた個人の存在をわたしの聖なるインパーソナリティのための手段であると正しく見なし、あなたの中にわたしの存在のみを見出せる人々。あなたと接する事で、彼ら自身の中にもこのインパーソナリティを認めていけるような、そのような人々を、わたしがあなたに引き寄せていくのです。彼らの瞳には光が生じ、そこには新たな志をも生まれる事となるのです。

特に、あなたの家庭の中にわたしは棲まうのです。あなたの最も近くに居る者たちを通し

て、わたしはあなたに沢山の素晴らしい事を教えていくのです。以前あなたは、彼らの真実に対し、盛んに意義を唱えていたかもしれませんが、今のあなたになら解るでしょう — 夫、妻、子ども、兄弟姉妹、両親という存在によって、今あなたの中にある素晴らしい性質の数々が発達していったのです。忍耐、優しさ、自制、言葉を慎む事や、愛ある配慮、無私の心、理解ある心 — 。あなたの心にわたし(アイ・アム)が居るのと同じように、彼らの心にもわたしが居るという事を感じられるよう、わたし(アイ・アム)があなたにはたらきかけているのです。

今こそ、あなたはこの事について感謝し、その恩恵を受ける時なのです。この偉大なる真実をあなたが真に理解した時、あなたは自身の兄弟、妻、両親、子どもの中にいるわたしが、愛と喜びに満ちた瞳をもってあなたに語りかけているのを見るのです。彼らに誤りがあるように見える時にも、それを非難する代りに、あなたは自分自身の中のわたし、インパーソナルな存在へと向き合うのです。わたしはあなたを通し、愛ある配慮の言葉を投げかけ、すぐに人々の心を和らげます。あなた方をまたひとつにし、それまでにも増して近しい存在とするのです。なぜなら、このわたし、それぞれの人の中に居る真のわたしは、実にひとつの存在であり、求められる時にはいつでも応えるからです。

そうなのです、あなたに最適な学び舎というのは、実に自分の家なのであり、そしてあなたにとって最も偉大な教師というのは、家の中に、その団欒の場にこそ居るのです。この事をあなたが意識の上で知る事ができれば、そしてわたしに、つまり内在のインパーソナルな存在に教えを請う事を学べたなら、実に相当の時間が短縮されるのです。なぜならわたしは、その者たちを通してあなたに多くを教えるだけではなく、その者たちに対しても同じく、あなたを通して教えていくからです。しかしながら、この点について違いがあります — つまり、あなたがわたしの存在に意識的であり、わたしの存在とその智慧の中に安らぐ事ができれば、あなたは自分の言葉をわたしが感化し、その行動を力付けていくのを、受け入れる事になるのです。あなたは全ての責任をわたしに任せる事になるので、あなたのその言動が、あなたの周りの人々に、またあなた自身にもどのような影響があるか等と、案じる必要がないのです。

この事ができるようになった時、あなたは自分自身の中に、またあなたの愛する人々の中に起こり始める変化に、驚きを隠せない事でしょう。そして間もなく、あなたは彼らのパーソナリティの後ろに、わたしが、つまりあなた自身のインパーソナルな自己が輝き出しているのが見える事になるのです。

このようにわたしを見る事ができるようになれば、天の御国があなたに開かれる事となります。あなたは、最早あなたの兄弟姉妹の中に欠けた所を見る事はありません。あなたの周りに不調和を見る事も無く、また不親切な仕打ちを受ける事はありません。なぜならば、あなたは他の者たちの中にも、このわたしのインパーソナルな存在を見出しているからです。全ての完全性、調和、愛ある心の源はそこにあるのであり、如何なるパーソナリティが存在していたとしても、それはやがてわたしの光に従うべきものであるという事、わたしのアイデアの表現、その光の中、ただその輝きを現していくべき存在であるという事を、あなたは知っているからです。

わたしがあなたに与えた全ての環境、条件は、あなたがわたしに対し最も奉仕できる場所であったという事が、分かるようになるでしょう。その場所、その状況下で、あなたが成すべき事が沢山、本当に沢山あるのです。より多くの問題を抱えたパーソナリティほど、わたしの生ける存在を必要としています。

あなたが目覚めを得る時、その場所がどこであったとしても、あなたがどこで経験を積んでいたとしても — 例えばあなたは、ビジネスの場や仕事場、肉体労働の場、教会、若しくは犯罪の場に身を置いている場合もあるかもしれません。そこにこそ、あなたにとって最も相応しい奉仕の機会があるのです。その者たち、つまりはわたしとあなたの側面である「自己」たちは、どのようにして内在のわたしに、その智慧に目覚められるというのでしょうか。目覚めを得るには、まず外側からの影響が無ければならないのです。それを受け取ったあなたこそ、与えていかなければなりません。感応を受けたあなたは、より霊化されていかなければならないのです。あなたは、そのビジネスの場、職場、労働の場、犯罪の場にさえ、わたしの息をもたらししていくのです。わたしの生ける存在は、悲しみの中にある人々、病を抱える人々の心を開き、わたしの光、愛による癒しを、そこにもたらししていきます。あなたは、彼らの潜力となる種を蒔いていくのです。目覚めた存在よ、あなたがあらゆる条件から解放された時、あなたはわたしの霊、祝福、強さを、今無知の中にある者たち、裏切りの中にある者たちの元へと、届けていくのです。わたしの霊、祝福、強さにより、彼らはこの世の慣習から来る影響を振り切り、自分の内側から来るわたしの声を聞くようになります。その時にこそ彼らは、自分自身の環境、条件をコントロールするマスターとなり、奴隷状態から抜け出す事が可能になるのです。その人が身を置く環境、条件というものは、その現状から逃げ出しているだけでは取り除かれる事はなく、又それをマスターする事もできません。そこには、神性による接触(タッチ)が必要であり、それは確実に与えられなければなりません。そしてそれは、わたしの導きと教えを頼りに、人間体験の深みまで降り、またその高みをも見てきたという者によってのみ、与えられるものなのです。

今この文章を読んでいるあなた、あなたの魂は理解しています。あなたの魂は祝福されています。あなたにはこれから、成すべき仕事があるのです。

知性の部分、思考の部分へ光が浸透していく中、パーソナリティが恐怖を感じ、まだわたしを受け入れ難いと思っているあなた — あなたも間もなく、わたしの祝福を受ける事となります。あなたもこの喜びを受け入れられるように、わたしがあなたを間断なく調べているからです。

わたしについて理解しながらも、同時に恐れを抱いていると言うあなた。今この時にもわたしは、あなたを通してわたしの意思を表現している事を覚えてください。究極的にはわたしの意思しか存在しないという事が、あなたにも理解できる時が必ず来ます。あなたの小我が意図する全てには終わりが訪れ、あなたは分離の夢から目覚める事となり、わたしこそがあなたの真我、唯一の自己であったと、知る時が来るのです。

それは、あなたが自分の存在、人生における全てを、わたしに完全に明け渡す事ができるまでは、現実となりません。不調和的考えや感情を引き起こしてしまう要素、言動が、あなたのパーソナリティから完全に消え去るまで、それは現実とならないのです。

それからは、あなたの行く道は途切れる事のない祝福の循環となるでしょう。あなたがどこに向かおうとも、わたしの光と愛があなたの行く先を照らし、平和と協調という結晶(ユニティ)をもたらししていくのです。素晴らしい事に、あなたが人々の人生に現れるだけで、皆の人生がより良く、より幸福になっていくのです — しかしこれは決して“素晴らしい事”ではなく、あなたが一旦これを理解できれば、ごく自然な事であるのです。

彼らの中に居るわたし(アイ・アム) — 例え彼らが肉体の中にある状態であっても、その中に確実に存在しているわたし(アイ・アム)が、あなたの中の完全なるインパーソナル・ライフを感じ、見出すのです。例え、彼らのパーソナリティの部分によってはそれを感じていなくとも、わたしのインパーソナル・ライフの光、神性(ホーリネス)は、確実にそこに在るのですから。

終